



農業や地域産品および学研都市ブランドを活かした シティプロモーションによる産業振興・観光振興業務 (学研都市ブランドを活かしたシティプロモーション (サブカルチャー 振興) による産業振興・観光振興施策の展開)

confidential

2020年3月25日

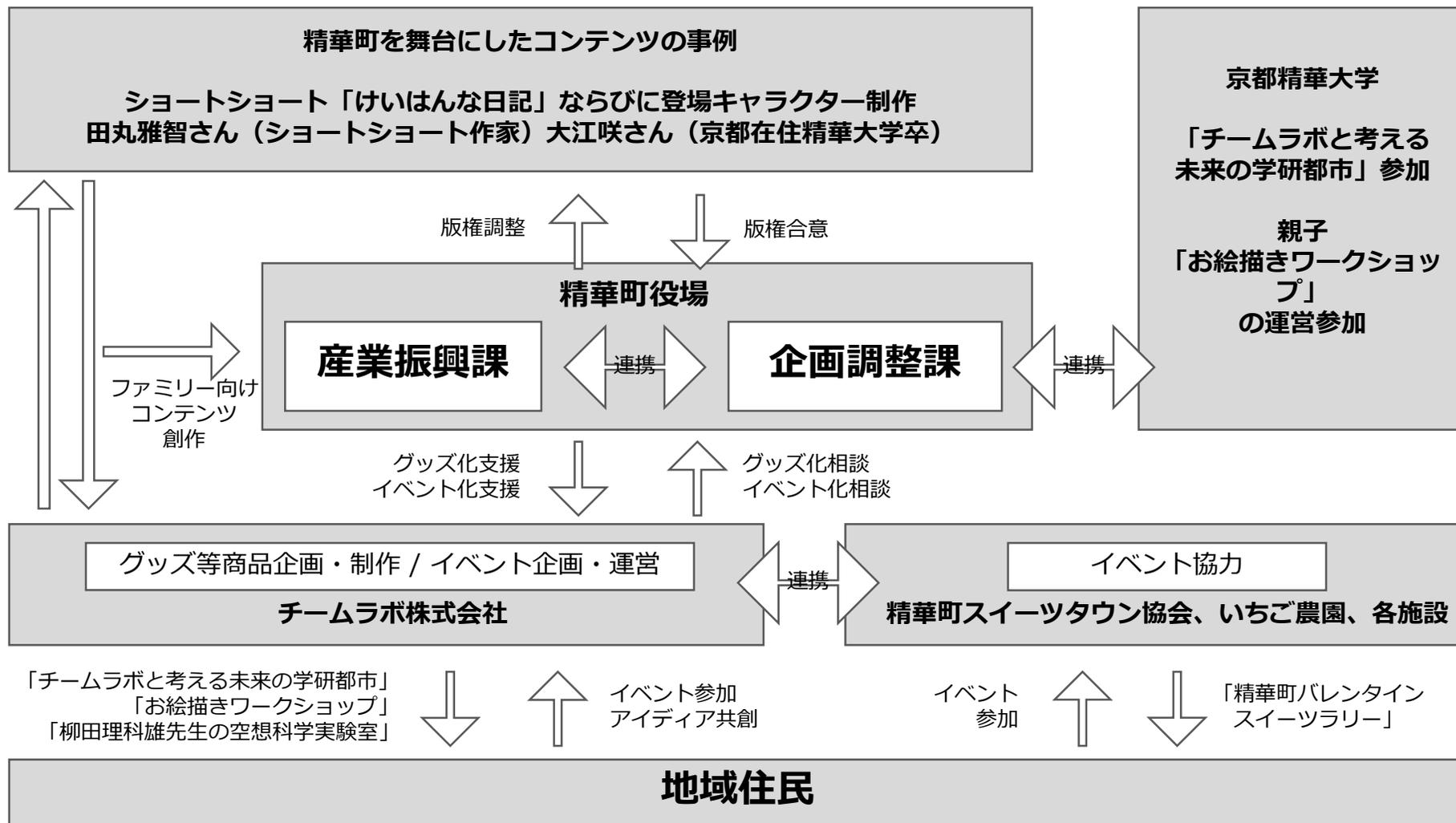


チームラボ 株式会社
TEAM★LAB Inc.

Tel: 03-6811-0527
email: info@team-lab.com
<http://www.team-lab.com/>

■コンセプトに基づいて、2017年度実施した内容

精華町の住んでいる人・精華町で学ぶ人・精華町で働く人・精華町役場が一体となってクリエイター等と共に、精華町の魅力を伝えるような地域とのつながりを感じるソフトコンテンツを生み出す「共創」を意識した施策を実施



農業や地域産品および学研都市ブランドを活かしたシティプロモーションによる産業振興・観光振興業務

- ・ 京都住民・大学生との共創ワークショップで「チームラボと考える未来の学研都市」コンテンツ作りの体験
- ・ 未来の学研都市をベースにイベントに来た親子で参加する「お絵描きワークショップ」の体験
- ・ けいはんなあちゃんの物語と（田丸雅智先生）イラスト作り（大江咲）
- ・ ショートショート小冊子200部・エコバック・ピンバッチ作成
- ・ けいはんなあちゃんと精華町スイーツ店のスタンプラリー実施
- ・ 科学のまちのこどもの柳田理科雄先生の理科実験イベント開催（300人集客）
- ・ 科学のまちのこどもの親子お絵かきワークショップ開催
- ・ 施策プロモーションページとFacebookイベントページやセイカちゃんSNS連携
- ・ 住民や働くひと・施策ごとのアンケート実施

実施後の評価

【サブカル・コンテンツ】

- ・ 精華町は広報キャラクターとして「京町セイカ」というデジタルコンテンツ戦略にも取り組んでいて、いわゆる「お役所仕事」では実現しにくい施策を実施する柔軟さを有しているが、学研都市と精華町役場のブランド連携できていない
 - けいはんなちゃんコンテンツ投入も時間がかかる。
- ・ ベットタウンとして人口は増加傾向にあるが、全国と比べて優れた景観や遊興施設を有している訳ではない
今後、観光地としての大きな発展を目指すのは得策ではないと思われる。
 - 住宅環境と並行して教育環境向上のコンテンツ投入の検討

【農業振興】いちご狩りで摘んできたいちごを、オシャレな箱に詰めて宿泊先や町内の施設（図書館）などで食べられるようにする

- ・ FacebookやInstagram等のSNSにおけるシェア増加が期待できる。
- ・ お茶の京都DMO戦略やいちご栽培など地元農家との連携などを強化し受け入れ体制を構築していく

今後の方向性

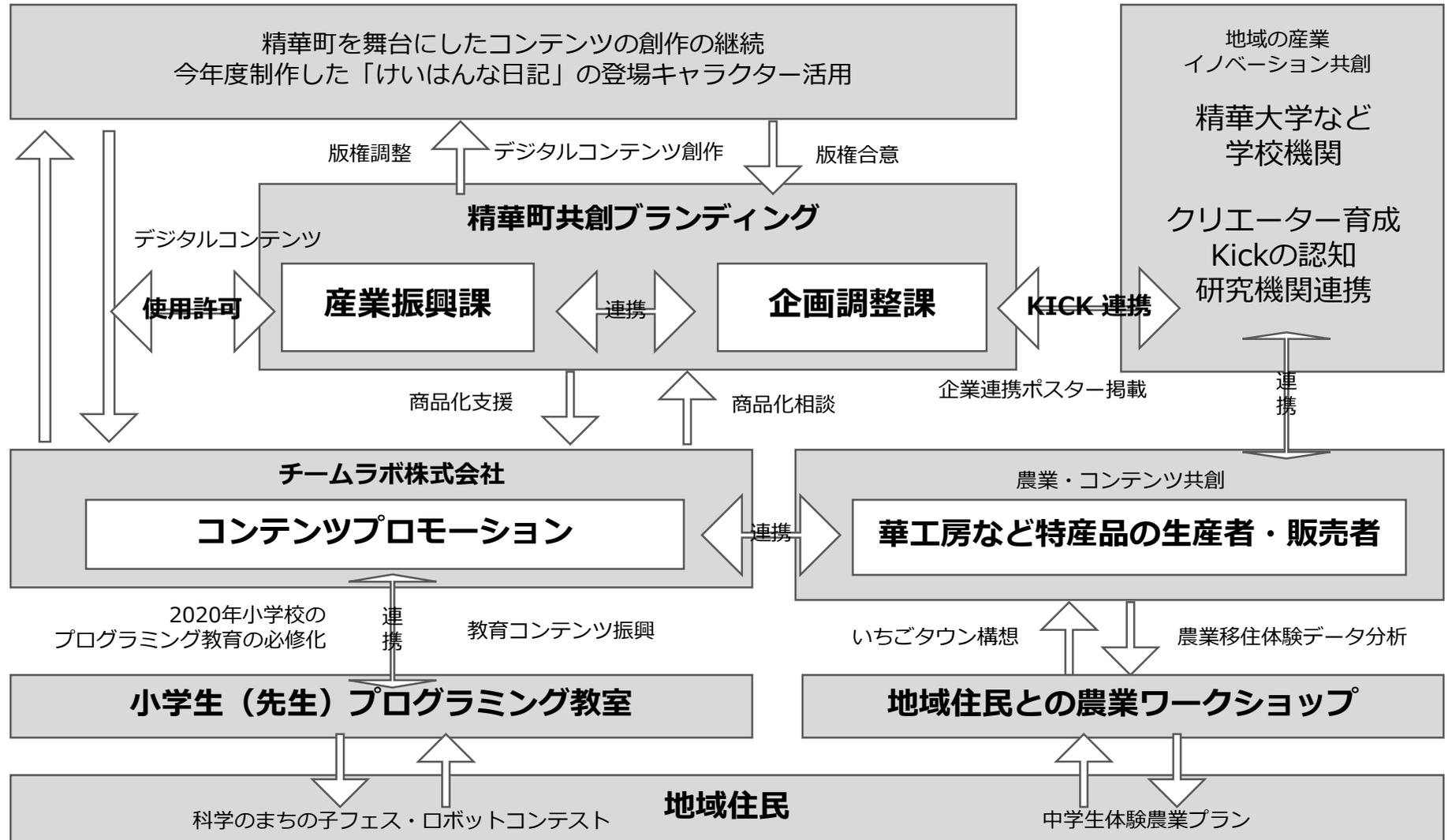
振興資源・コンテンツの関連付けを再構成し、ストーリーを創造し地域の「過去のストーリー化」「現在のストーリー化」「地域の未来のストーリー化」3つの切り口でコンテンツ振興の物語創作をすすめる。



■ 将来コンセプトに基づいた、2018年度の事業プラン再構築

精華町にヒアリングしながら、再構築した2018年度の施策案は下記の通りである。

教育の町としてのブランド構築とデジタルコンテンツ振興と主力農産物の「いちごタウン構想」の継続施策





企画調整課と産業振興課の将来コンセプトに基づいた施策

教育の町としてのブランド構築とデジタルコンテンツ振興と主力農産物の「いちごタウン構想」の継続施策

サブカルチャー振興／けいはんな日記の登場キャラクター活用のコンテンツ振興

- ・4/14 KICKオープニングイベントとして親子で「お絵かきワークショップ」開催（町長の訪問あり）

産業／観光創出

- ・10/28「チームラボと考える未来の学研都市」学研都市の研究者と親子WS開催
ショートショートコンテンツポスター化（学研都市企業や地域に掲載）
教育の町としてのブランド構築取り組みの加速化に向けた新事業プランの提案

産業振興／観光ビジョン：いちごタウン構想から農業コンテンツの将来像の見える化

- ・地元生産者と地元スイーツ店と京都精華大学生と地域住民の意見交換と農業ワークショップ
- ・農業北杜市移住の事例の紹介と精華町の現状データ紹介と「いちごのワークショップ」開催

教育の町としてのブランド構築／コンテンツプロモーション

- ・東光小学校で東大教授の教育プログラミング思考セミナー（対象：小学校の先生）
- ・小学校の先生教育プログラミング体験（@東光小学校）と小学生のプログラミング体験教室の実施（@Kick）
- ・科学のまちの子フェスティバルでのロボットづくりワークショップとロボットコンテスト開催

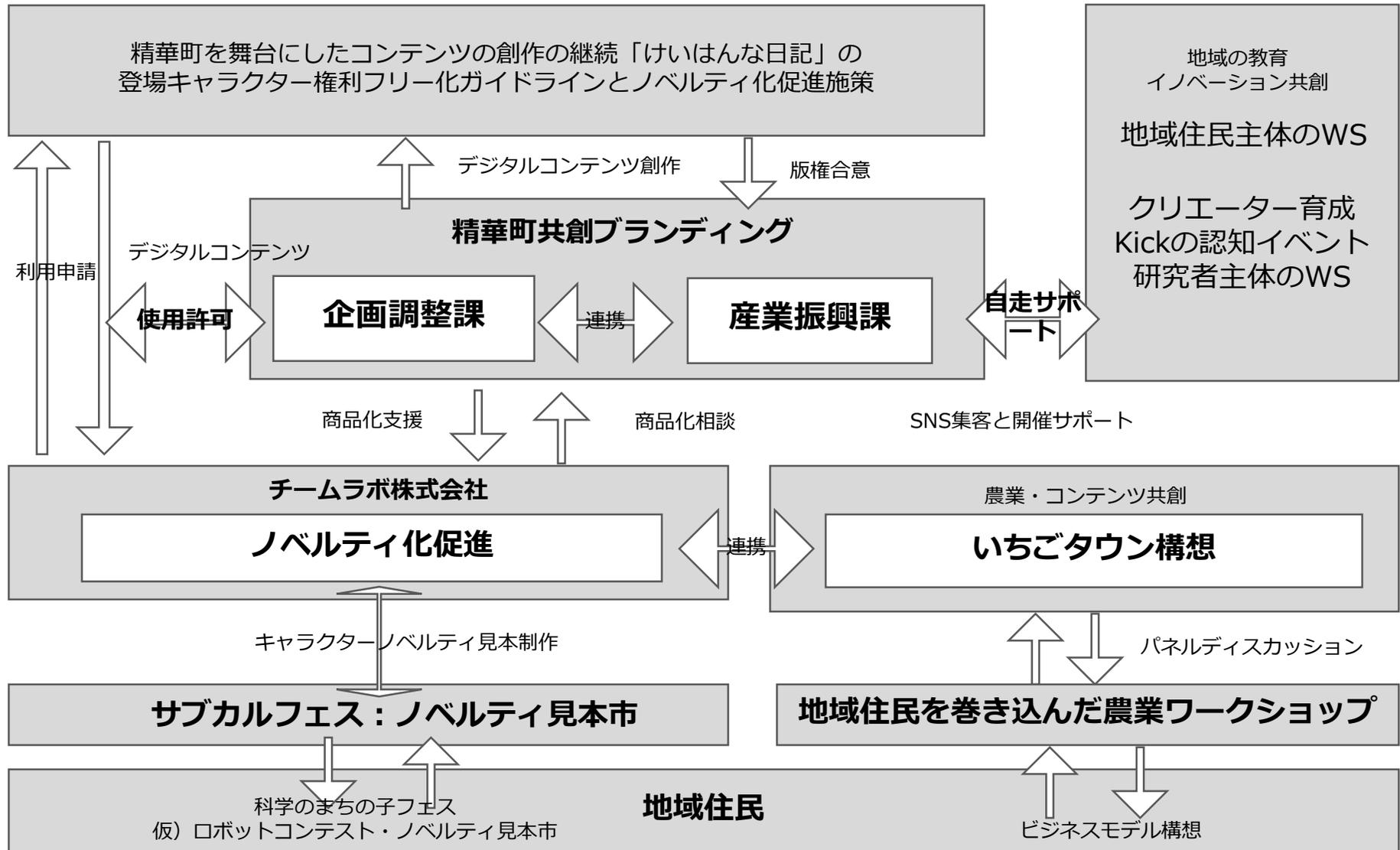
メディア調査／WEBやSNSプロモーション

- ・精華町日記：Sikecho.loveのコンテンツ更新
- ・セイカちゃんSNS連携やFacebookのコンテンツ更新とSNSメディア調査
- ・各施策・イベントのアンケート実施
- ・各施策の報告書作成



■ 将来コンセプトに基づいた、2019年度の事業プラン再構築

5月に精華町と議論した仕様を決めた2019年度の施策案は下記の通りである。



ア. 地域密着イベントプロモーション

精華町内で自走可能な地域で働くひと主体のワークショップ実施のサポート	900,000
1. サンドイッチフェス・お絵かきワークショップ（研究者イベントサポート） 10×5万	
2. 自走可能な地域で働くひと主体の農業ワークショップ実施のサポート 40万	

イ. キャラクター権利フリー化・町内プロモーション活用

民間クリエイターの作品を積極的に使用できる環境とサブカルチャー支援環境の構築	600,000
・大江咲 コンテンツのオープン化（京町セイカにならう）クラウドファンด์：教育グッズ制作 こどもフェスでキャラクターグッズの見本市開催（オープン化の利用事例グッズを制作して周知を図る）	

産業・観光創出：京町セイカやけいはんな日記等を活用したショートショートコンテンツ作成 600,000

1. 支援するクリエイターをクラウドファンด์にチャレンジ！（個人か団体か検討する）
 - ・グッズの引き受け手で地元の団体（けいはんなプラザなど）精華町のほうが詳しいかと思えます
 - ・団体ではなくクリエイター個人が発信して、町としてサポートする（ファンด์する）のも自然で良い
 - ・精華町内広報誌掲載の4コマ漫画を想定したお絵かきワークショップの開催 400,000

ウ. 教育のまちとしてのブランドづくり

- ・科学のまちの子どもたちイベントにおけるロボットコンテストの開催（ATR+精華町共催）（工. に含む）

工. 上記施策の調査・プロモーション・企画・開催告知・報告書作成・SNS連携・運用	1,500,000	
オ. 上記施策の開催告知・報告書作成・SNS連携・運用		1,000,000

合計 5,000,000

ア. 地域密着イベントプロモーション

- ① サンドイッチフェス・お絵かきワークショップ（研究者イベントサポート） 4～5本：
10月5日@Kick サンドイッチワークショップ
2月11日 科学のまちの子フェスでお絵かき教室@けいはんなプラザ5階ボルガ押さえてある（大江咲ゲスト打診）
キャラクターシールかボールペン（著作権フリーシール）人気投票したら景品差し上げ
- ② 自走可能な地域で働くひと主体の農業ワークショップ（パネルディスカッション）
精華町タスク；12/1（日曜日）農業WS 開催 場所：役場 集客：広報紙とFacebook告知
10/4 岩崎・海野 パネラーとファシリテータの決定

イ. 民間クリエイターの作品を積極的に利用できる環境とサブカルチャー支援の環境構築

- ③ キャラクター権利フリー化ガイドライン作成「町内プロモーション活用」「町への申請方法など」
けいはんなあちゃんのコンテンツを地域が使えるガイドライン作成（精華町のWEBに掲載できるコンテンツ用意）
- ④ 科学のまちの子フェスで キャラクター文具博 サブカルで作ったノベルティサンプルで子どもたちに投票してもらおう
2月11（火）祭日：科学のまちの子フェスでキャラクターノベルティ展示
ノベルティサンプル作成し展示：子どもたちに人気投票（景品：キャラクターボールペンかシール）

ウ. 観光・産業振興の可能性を探り事例作り：けいはんなあちゃんを活用した事例作り

- ⑤ 精華町内広報誌掲載の4コマ漫画は他のキャラクターと混在するのでやらない
大江咲をサポートするクラウドファンด์：精華町の責任下で行うのは難しいのでやらない
- ⑥ 11/17（日）サブカルフェスでキャラクターノベルティ展示
けいはんなあちゃんグッズ見本作成・パネル展示し地域の企業にPR（広報紙で告知）
ノベルティサンプルに投票とアンケートでボールペンかシール景品
コンテンツを地域の企業がノベルティで安心して、わかりやすく使えるようにする

エ. 教育のまちとしてのブランドづくり：科学のまちの子どもたちイベントにおけるRCと精華町共催協議

- ⑦ 科学体験フェスティバル（2/11）におけるRCロボットコンテスト共催（予算RC側で町は場所の提供）
仮）ロボットコンテスト活動の周知を図る：ロボットコース設計コンテスト・パネル展示・動画やチラシ



▲3月末：実施施策の最終報告書作成（京都銀行）

実施施策をけいはんな日記とFacebookページ更新・SNSインサイト情報更新

▲研究者イベントサポート

- ・ 2月：みんなで作って飛ばそう「繋がる凧ワークショップ」午前の部：遠藤（ATR）
- ・ 2月：みんなで作って飛ばそう「繋がる凧ワークショップ」午後の部：野田（島津製作所）

▲科学のまちこどもフェス

- ・ 2月：ノベルティ人気投票（アンケート）+大江咲の似顔絵屋さん
- ・ 2月：RCプログラミング共催

▲12月末：下記実施施策の中間報告書（京都銀行）

実施施策と、けいはんな日記とFacebookページ更新・SNSインサイト情報更新

▲自走可能な地域で働くひと主体の農業ワークショップ

- ・ 12月：イチゴパネルディスカッションとワークショップ

▲サブカルフェス キャラクターグッズプロモーション

- ・ 11月：京町セイカやけいちゃん・はんちゃん・なあちゃんシール2,000枚作成
- ・ 11月：ノベルティ人気投票（アンケート）
- ・ 11月：大江咲の似顔絵屋さん

▲学研都市研究者の自主イベントサポート（SNSにて告知）

- ・ 11月：サンドイッチフェス
- ・ 12月：Tシャツお絵かきWS
各施策のチラシ作成・小学校に配布

▲10月：キャラクター権利フリー化資料（ガイドライン）

ノベルティ用の新コンテンツ作成

5月 8月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

ア. 地域密着イベントプロモーション

サンドイッチフェス
テスト開催

サンドイッチフェス

Tシャツお絵かき

科学のまちの子どもたち
凧ワークショップ午前
凧ワークショップ午後

イ. キャラクター権利フリー化

リリース告知

イ. 産業・観光創出

コンテンツオープン化
WEB用ドキュメント



サブカルフェス
ノベルティ人気投票
大江咲の似顔絵屋

科学のまちの子どもたち
ノベルティ人気投票
大江咲の似顔絵屋

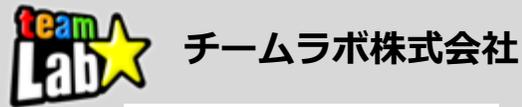
ウ. 教育のまちとしてのブランドづくり

パネルディスカッションと農業WS

科学のまちの子どもたち
RCプログラミング共催

エ. 上記施策の調査・プロモーション・企画・開催告知・報告書作成・SNS連携・運用

オ. 上記施策の開催告知・報告書作成・SNS連携・運用

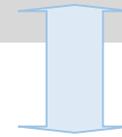
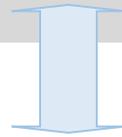


業務責任者
椎谷ハレオ

情報収集WEB担当
白鳥啓

農業・産業振興担当
海野雄史

教育コンテンツ担当
椎谷ハレオ



WEBメディア
Sikecho.love

農業ワークショップ
イベント開催

ノベルティ関連

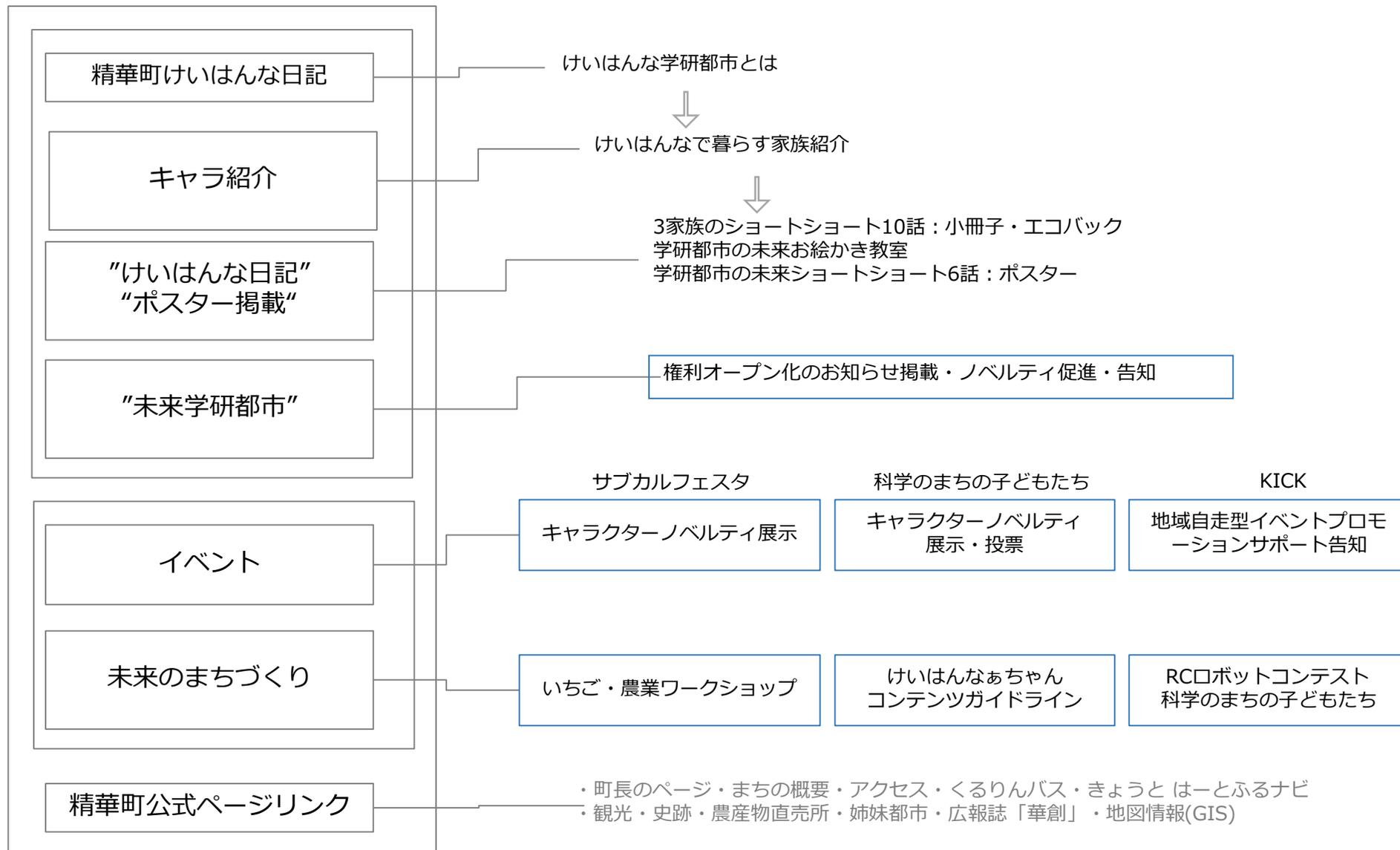
SNSメディア
Facebook SNS調査

農業振興施策

自走ワークショップサポート



www.seikacho.love ※「未来のまちづくり」「イベント」に関しては今年度実施分のみ掲載



精華町を、
もっとわくわくする町に

京都・大阪・奈良にまたがる「けいはんな学研都市」その真ん中にある精華町は、最先端の研究と、豊かな自然や文化施設が共存する【新しい町】です。

このサイトでは、精華町での暮らしを題材としたちょっとふしぎなショートショートや、けいはんな学研都市がもっとわくわくする地域になるために行っているさまざまな取り組みを紹介しています。

2019年	ユーザー数
4月	32
5月	29
6月	23
7月	46
8月	35
9月	42
10月	27
11月	62
12月	20
1月	34
2月	31
合計	381

2019年度ユーザー数の推移



本年度は主に各種施策の実施結果の掲載のために活用

イベント開催報告欄



つながる凧ワークショップ

2020/02/11 (火) 【本イベントは終了しました】

けいはんなエリア周辺に居住する親子と有志メンバーで、自分のオリジナルの空の絵を描いた凧を繋げて「みんなで一つの大きな星座を作って揚げる」ワークショップを行いました。

みんなで一緒に絵を描くことで、自分では思いつかなかった描き方・線の使い方・色の選び方などを通し、他の人のアイデアを尊重すること、他の人の話を聞くこと、そして自分自身のアイデアをカタチにすることを学びました。[当日の写真はこちら](#)

イラストレーター・おおえさきの

にがおえコーナー



けいはんな科学体験フェスティバルにて、おおえさき似顔絵コーナー開催！

2020/02/11 (火) 【本イベントは終了しました】

精華町学研都市のキャラクター「けい・ほん・なあちゃん」のイラスト作家。大江咲さんが来場して「似顔絵やさん」を開催しました。[当日の写真はこちら](#)

まちづくり活動開催報告欄



精華町「いちごのまち」について語ろう！

2019/12/1(日)【本イベントは終了しました】

「イチゴのまち精華町」パネルディスカッションを行いました。参加者のみなさんと「採れたてのイチゴ」を食べながら、精華町を「いちごタウン」としてアピールするためにどうするべきか「ブランドづくりワークショップ」農園・スイーツ店・研究者・ソムリエ・学生の方々が集まり、自由な発想で議論を行い、具体的なプランを発表してもらいました。[当日の写真はこちら](#)



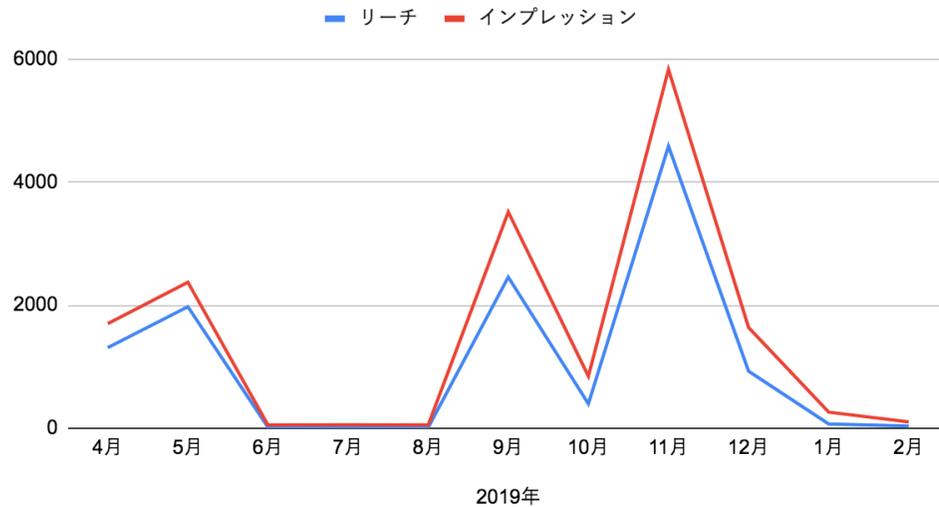
SEIKAサバルフェスタ2019にて、けい・ほん・なあちゃんグッズ見本市開催！

2019/11/17 (日) 【本イベントは終了しました】

SEIKAサバルフェスタのブースにてキャラクターのサンプルグッズを展示を行いました。人気投票を実施し、好きなグッズに投票してもらった方に「けい・ほん・なあちゃん」のシールをプレゼントしました。[当日の写真はこちら](#)



リーチ数とインプレッション数



2019年	リーチ	インプレッション
4月	1309	1699
5月	1975	2373
6月	16	53
7月	14	56
8月	10	53
9月	2457	3514
10月	399	847
11月	4585	5830
12月	927	1636
1月	70	262
2月	37	103
合計	11799	16426

リーチ：ページのコンテンツ、またはページに関するコンテンツが画面に表示された人の数。(ユニークユーザー数)

インプレッション：ページのコンテンツ、またはページに関するコンテンツが利用者の画面に表示された回数。(合計数)



継続して各種施策の広告・実施結果の掲載のために活用



2月11日 **みんなで作って飛ばそう！つながる凧ワークショップ**
 公開・主催者: チームラボと考える未来の学研都市



12月1日 **精華町「いちごのまち」について語ろう！**
 公開・主催者: チームラボと考える未来の学研都市

★ 興味あり ✓ 参加予定

チームラボと考える未来の学研都市さんが2019年12月8日の写真12件を追加しました。
 作成者: 椎谷 ハレオ | 2019年12月8日

2019/12/8(日曜日) 横の人とつながろう!Tシャツお披露目!
 集まった人とTシャツに絵を描いて並ぶことで、1枚の大きな絵にしました。一緒に絵を描くことで、自分では思いつかなかった描き方・線の使い方・色の選び方などを通し、他の人のアイデアを尊重すること、他の人の話を聞くこと、そして自分自身もアイデアを発することを学びました。
 道具を共有することで、使いたい物を使いたい時に他の子が使っていて、自分が思うようにはいかない状況もあると思います。様々な衝突や葛藤を経験して、一緒にものづくりする体験をおこないました。
 次回は2月11日 科学体験フェスティバルで開催予定です。



337 リーチした人数 90 エンゲージメント数

投稿を宣伝

チームラボと考える未来の学研都市
 作成者: 椎谷 ハレオ | 2019年11月14日

SEIKAサブカルフェスタ2019
 11月17日(日曜日) 10:00~16:00 雨天決行(入場無料)
 精華町学研都市のキャラクター「けい・はん・なあちゃん」のイラスト作家、大江咲さんが来場して「似顔絵やさん」はじめます。けいはんなプラザ日時計広場で受付をしてくれた人、先着順20名です(整理券配布します) 展示ブースではキャラクターのグッズ見本市をやっているの好きなグッズに投票してもらえれば「けい・はん・なあちゃん」のシールがもらえます。皆さん遊びに来て下さいね!
<https://www.town.seika.kyoto.jp/event/11769.html>



チームラボと考える未来の学研都市
 コミュニティ

メッセージを送信

1,105 リーチした人数 103 エンゲージメント数

もう一度宣伝

2019/11/14に作成 完了

リーチした人数 1,060.0 投稿のエンゲージメント数 122

成果を確認



継続して各種施策の広告・実施結果の掲載のために活用



横の人とつながろう
「Tシャツお絵かきワークショップ」

12月8日 Tシャツお絵かきワークショップ
公開・主催者: チームラボと考える未来の学研都市

★ 興味あり ✓ 参加予定

本イベントは、運営側から用意された画材を使ってTシャツに絵を描いてもらい、「みんなで絵を描いたTシャツを並べて1枚の大きな絵にする」ワークショップです。

けいはんなエリア周辺に居住する親子が、みんなで一緒に絵を描くことで、自分では思いつかなかった描き方・線の使い方・色の選び方などを通し、他の人のアイデアを尊重すること、他の人の話を聞くこと、そして自分自身のアイデアをカタチにすることを学びます。

道具を共有して絵を描くイベントを通して子どもたちは、自分が使いたい道具を他の子が使っている状況や、自分の思うようにはいかない衝突や葛藤などの経験を共有・体験します。保護者の方は、お子さんが他の子どもたち「イメージをどう共有して絵にするか」を見て学ぶことができます。

▼定員：親子15組（無料）応募多数の場合は先着順になります。

▼参加費：無料
申込時にTシャツ持参か購入かをご選択ください。購入の場合は実費500円を当日に頂戴いたします。

▼協力：精華町 問い合わせ：TEL:0774-94-2004

▼Facebookイベントページ内の参加では正式な申込みになりません。参加申込みは必ず下記リンク先の受付フォームからお願いします
<https://forms.gle/HwDNSbj9eD1kbAVA7>

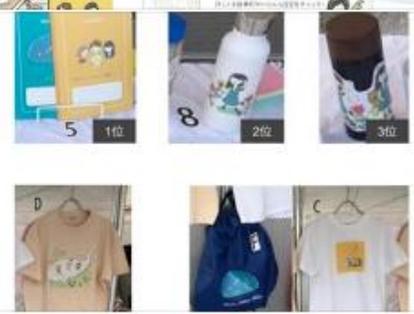
▼参加者が用意するもの
白いTシャツ(持参する場合)
絵を描くのに使えそうなもの
飲み物

チームラボと考える未来の学研都市
作成者: 椎谷 ハレオ | 2019年3月4日 16:43

2月11日(祝日)「けいはんな科学体験フェスティバル」にて、学研都市精華町のキャラクター展示ブースでノベルティグッズの人気投票の結果をお知らせします。投票してくれた皆さんには「けい・はん・なちゃん」シールを皆さんに差し上げました。



5	26
4	16
3	12
D	10
F	9
C	9
A	8
F	8
I	7
H	5
G	5
E	5
2	5
B	4
B	3
3	3
I	1



チームラボと考える未来の学研都市さんが2019年12月1日の写真
15件を追加しました。
作成者: 椎谷 ハレオ | 2019年12月1日

2019/12/1(日曜日)「イチゴのまち精華町」パネルディスカッションを行いました。後半は参加者のみなさんと「採れたてのイチゴ」を食べながら、精華町を「いちごタウン」としてアピールするためにどうすべきか「ブランドづくりワークショップ」農園・スイーツ店・研究者・ソムリエ・学生の方々が集まり、自由な発想で議論を行い、具体的なプランを発表してもらいました。




コミュニティ

メッセージを送信



2020/2/11みんなで作って飛ばそう
繋がる凧ワークショップ°実施報告書



本イベントは、運営側から用意された画材を使って、自分のオリジナルの空の絵を考えて、凧に描きます。書いた凧を繋げて(連凧)「みんなで一つの大きな星座を作って揚げる」ワークショップです。

自分の星座とお友達の星座を繋いで、一つの大きな星座を作ることで、自分では思いつかなかった描き方・線の使い方・色の選び方などを通し、他の人のアイデアを尊重すること、他の人の話を聞くこと、そして自分自身のアイデアをカタチにすることを学びます。保護者の方は、チームでコミュニケーションをとり、みんなで協力する様子から、お子さんとのコミュニケーションを学びます。

▼定員：親子20組

▼会場：けいはんなプラザ（問い合わせ：TEL:0774-95-1900：精華町）
〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台一丁目7番地

▼午前の部の流れ

- 10:00 受付開始
- 10:15 挨拶、ワークショップの概要説明、チーム分け
- 10:30 下書き
- 11:45 発表説明各1分
- 11:00 凧にお絵描きスタート
- 11:30 どの星を繋げて、大きい星座にするか話し合い
- 11:45 発表
- 12:00 写真撮影、外で凧揚げ
- 12:15 みんなで片付け、解散

▼午後の部の流れ

- 13:30 受付開始
- 13:45 挨拶、チーム分け
- 14:15 星座お絵かき
- 14:30 星が何に見えた？ お友達に発表
- 14:45 星座の物語をチームで語り合う・お絵描き(続き)
- 15:10 発表・写真撮影（体と凧で一枚の絵物語を表現）
- 15:45 みんなで片付け、解散



タイトル：つながる凧ワークショップ
 開催日：2020年2月11日（火曜日）
 開催時間：午前の部10:30-12:15
 午後の部13:30-15:45
 開催場所：けいはんなプラザ
 参加料：無料
 参加対象：けいはんな地区在勤・在住の周辺の親子(小学低学年)
 参加定員：午前の部10組・午後の部15組
 応募者数：32組
 参加人数：22組(きょうだい含む22名)

主催：主催者名 チームラボと考える未来の学研都市

共催：精華町

開催趣旨：本イベントは、運営側から用意された画材を使って、自分のオリジナルの空の絵を考えて、凧に描きます。書いた凧を繋げて(連凧)「みんなで一つの大きな星座を作って揚げる」ワークショップです。自分の星座とお友達の星座を繋いで、一つの大きな星座をすることで、自分では思いつかなかった描き方・線の使い方・色の選び方などを通し、他の人のアイデアを尊重すること、他の人の話を聞くこと、そして自分自身のアイデアをカタチにすることを学びます。保護者の方は、チームでコミュニケーションをとり、みんなで協力する様子から、お子さんとのコミュニケーションを学びます。

当日参加者の内訳

男の子	女の子			
10名	12名			
10歳	9歳	8歳	7歳	6歳
2名	6名	8名	5名	1名

午前の部のタイムテーブルは以下の通りです。

10:15 -10:30	はじめに	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶、ワークショップの概要説明、チーム分け
10:30 -10:45	下書き作成	<ul style="list-style-type: none"> 自分が星座にしたいものをA4用紙に描き、星座の名前と説明を記入する
10:45 -11:00	発表と説明	<ul style="list-style-type: none"> 説明各1分・下書きを見せながら、みんななぜその星座を作ったのかなど自分の星座を説明する
11:00 -11:30	お絵かき開始	<ul style="list-style-type: none"> アクリル絵の具で星座を凧に描き、凧を完成させる
11:30 -11:45	話し合い	<ul style="list-style-type: none"> どの星をつなげて、みんなで大きな星を作るかを話し合う
12:00 -12:15	発表	<ul style="list-style-type: none"> 自分の凧をみんなに見せて、どんな星座にしたか、こだわった点を発表する
12:15 -12:30	後片付け	<ul style="list-style-type: none"> みんなで片付けて・記念写真・解散

午後の部のタイムテーブルは以下の通りです。

13:45 -14:15	はじめに	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶、ワークショップの概要説明、チーム分け
14:15 -14:30	星座お絵かき	<ul style="list-style-type: none"> 星型のシールやスタンプで星空を作り、星を繋げると、どんな形になるか想像する
14:30 -14:45	発表と説明	<ul style="list-style-type: none"> 想像した形をみんなに発表
14:45 -15:10	話し合い・お絵かき	<ul style="list-style-type: none"> シールや絵の具などを使いながら、星座を飾って、凧を完成させる みんなに自分の星座を説明し、どの星を繋げて、大きな星座にするか話し合う
15:10 -15:45	発表・写真撮影	<ul style="list-style-type: none"> みんなに自分の星座を説明し一緒に写真撮影
15:45 -16:00	後片付け	<ul style="list-style-type: none"> みんなでお片付けて・記念写真・解散



下書きした
星座をみんなに説明する



みんなの発表
を聞く時間



写真の説明を入れます。前ページの当日スケジュールの時系列順に並べる。

アクリル絵の具で星座を描く



筆やスポンジを使って、好きなように描く



みんなの星座が空に並んでいるように見える



午前の部 集合写真



写真の説明を入れます。前ページの当日スケジュールの時系列順に並べる。

星や花のシールで、
星空を作る



星の数や色は
自由にする



星を繋げると
どんな形に見えるか
創造する



星型にくり抜いた
ステッカーでスタンプ
していく



写真の説明を入れます。前ページの当日スケジュールの時系列順に並べる。

絵の具やシールを貼って、さらに飾り付ける



絵の具などを乾かす

凧の足を繋げて完成



グループで星をつなげて、大きな星座をつなぐ

午前の部



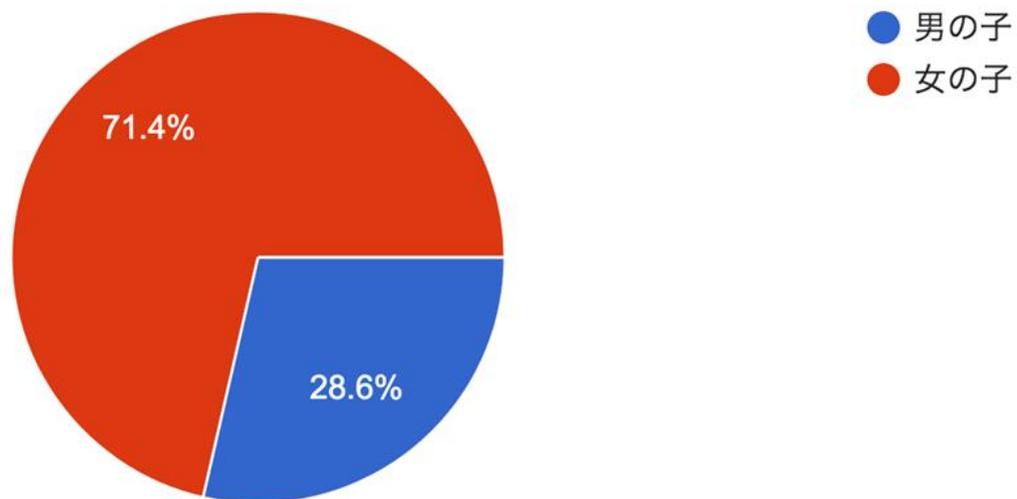
午後の部



イベント終了後に参加者アンケートを実施。
保護者の方にQRコードからWebでの回答をしていただきました。
回答者数:14名

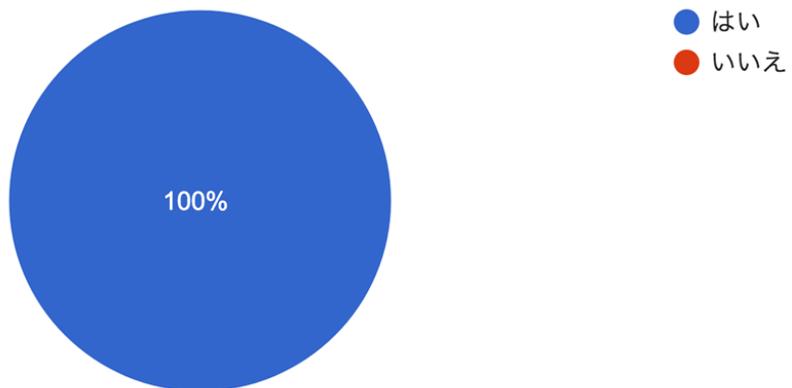
お子さんの性別

14件の回答



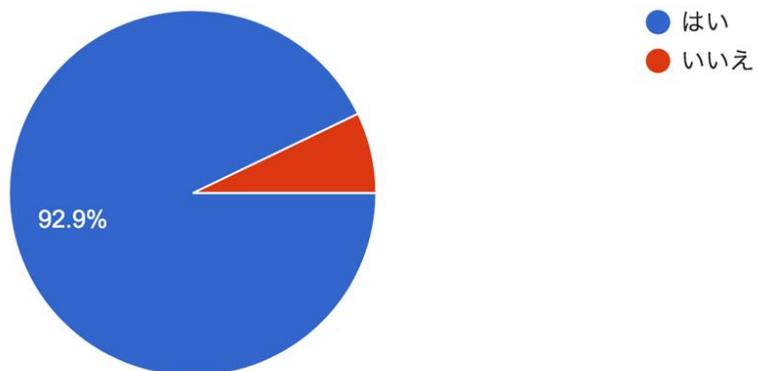
今日やったことは、おもしろそうだな、また自分でやってみたいなと感じましたか？

14件の回答



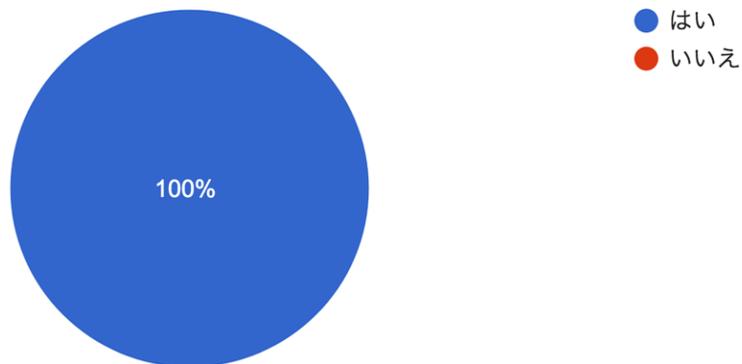
周りの友だちと協力して参加することができましたか？

14件の回答



またこのようなイベントがあったら来たいと思いますか？

14 件の回答



今回のイベントに関して、なにか感想があったらご自由にお書きください。（お子さんの意見・感想） 12 件の回答

- ・ おもしろかった
- ・ 楽しかったです。
- ・ シールがかわいいから、凧がかわいくなった
- ・ 楽しかった。早く凧揚げしたい。
- ・ めっちゃ楽しい。また来たいです。
- ・ 星から、イメージを膨らませるのが時間がかかったけれど、アイデアが湧いてきて、とても楽しかったです。普段は自分の作品だけで、完結してしまうけれど、今回は、さらに、お友だちと繋げて、さらにイメージが広がるのがさらに楽しかったです。
- ・ 作るのがすごい楽しかったです。
- ・ みんなで飛ばせたら良かったな！
- ・ 絵具を混ぜる作業が楽しかった

最後に、保護者の方でご感想やご要望がございましたらご記入ください。12件の回答

- ・楽しんで取り組みしていました。ありがとうございました。
- ・もう少しテンポが早いと良いと思いました。ありがとうございました。
- ・のびのびと自由な星座を描いていて、楽しく参加できました。ありがとうございました。
- ・作るだけでなく、話し合いもしつつ楽しみながら作成ができていて、いい経験になったようです。参加させて良かったです。また、次の機会があれば、ぜひ参加させてもらいたいです。ありがとうございます。予約できることも、混乱なく参加できとても良かったです。チームラボさんの企画とのことで、とても楽しみにしておりした。準備から当日もありがとうございます。
- ・子供がもっとモジモジして喋れないかと思ってましたが、しっかり自分の意見を言えて驚きました。チームラボの名前でイメージしていたものとは少し違いましたが楽しいイベントでした。ありがとうございました。
- ・子供が持て余す時間が多かったと思う。やりたいこと、やらせたいことがわかるんだけど、もっとこうしたらいいのになあと思うところは多かった。
- ・最後の写真撮影に掛かる時間を、外に出て凧を飛ばす時間に変えれたら、子供達的にはもっと楽しいかな。



2020/2/11 けいはんな科学体験フェスティバル
ノベルティグッズ人気投票実施報告書



グッズ人気投票



おおえさき似顔絵コーナー

開催日 : 2020年2月11日 (金)
開催時間 : 10:00-16:00
開催場所 : けいはんなプラザ
参加料 : 無料
参加対象 : けいはんな科学体験フェスティバル来場者

実施内容 :

学研都市精華町PRキャラクター「けい・はん・なちゃん」のオープン利用化に向けた施策として、将来的にグッズがどのように利用できるようになるか見本としてサンプルグッズを展示。

各グッズに対して来場者に投票を行っていただき、世代・性別別にどのようなものの人気があるのかデータ集計を行いました。

また、精華町のクリエイター奨励に関する取り組みの一環として同イベント内にてイラストレーターおおえさきによる似顔絵コーナーを設置、集客の促進を行いました。



学研都市精華町PRキャラクター（仮）



限定シール
プレゼント!!

オープン利用化に向けた人気グッズ投票!

キャラクターの オープン利用化って?

学研都市精華町のことをみんなにもっと知ってもらうために、共通のキャラクターをたくさんの方に使っていただくための仕組みづくりを考えています。
この仕組みができれば、精華町内だけでなく、いろんな企業やクリエイターに「けいはんなちゃん」を使ってグッズ制作などを行ってもらえるようになります。



どのグッズが欲しい?

「けいはんなちゃん」のイラストを使って誰でもグッズを作れるようにしたい! そんな想いから、皆さんがどんなグッズが好きか、人気投票を行っています。「そんなのあったら嬉しい!」という見本の番号を書いて投票をしてください。投票された方には限定シールをプレゼントいたします。



グッズ人気投票フォーム



精華町

お問い合わせ先: 精華町役場企画調整課 0774-95-1900

精華町けいはんな日記

京都と、大阪と、奈良の真ん中に、せいか町という街があります。
せいか町では、新しい技術の研究や、新しいみどりと生活と文化を作るため、日々、沢山の人が働いて、暮らしています。
そして、この一帯はそれぞれの地域の頭文字をとって、「けいはんな学術研究都市」と言われています。
多くの研究施設と、研究所や会社があって、大きな図書館があって、素敵な公園があって、あと、スイーツのお店が沢山あります。
この街に住んで、働いている、ごく普通の3家族に、それぞれ3人の子どもがいます。



いつも元気な女の子、けいちゃん。

大阪から転動してきた男子、はんちゃん。

本が大好きな女の子、なあちゃん。

この3人とその家族は、チョットだけ不思議な毎日を送っています。

詳しくは精華町けいはんな日記をチェック!



精華町

お問い合わせ先: 精華町役場企画調整課 0774-95-1900



ブース外観 -1



ブース外観 -2



サンプルグッズ



投票の様子

オリジナルグッズ



8

人気投票2位



4

人気投票3位

スリムクリアボトル



7



モバイルバッテリー

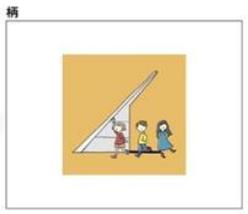


2

マグカップ



3



1



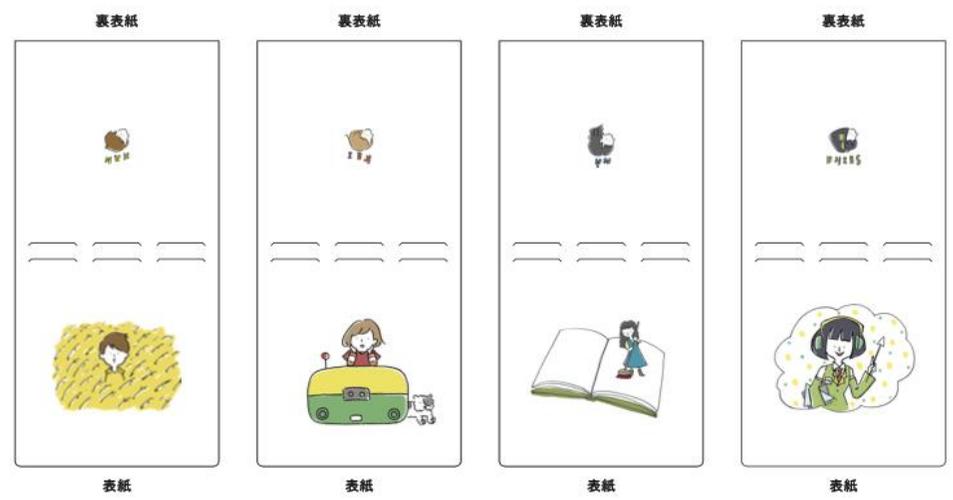
9



オリジナルグッズ

ふせん

6



ノート(A4サイズ)

5



人気投票 1位

オリジナルグッズ

Tシャツ



イベントバッグ

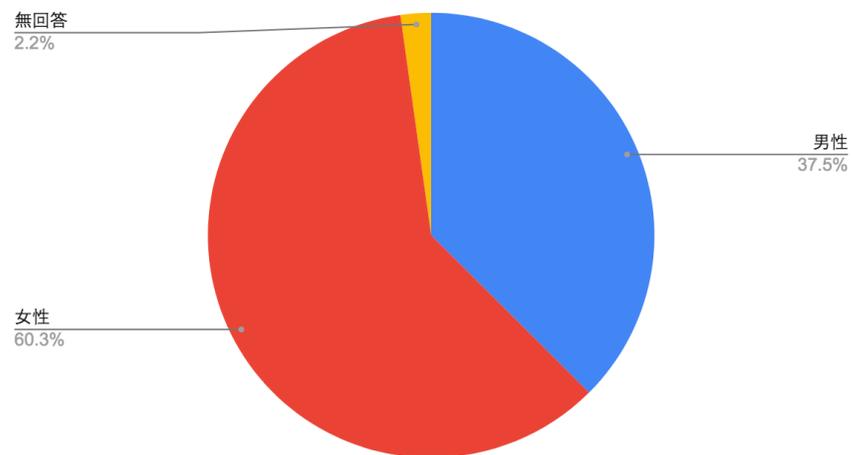


レギュラーキャンバスサコッシュ(ナチュラル)

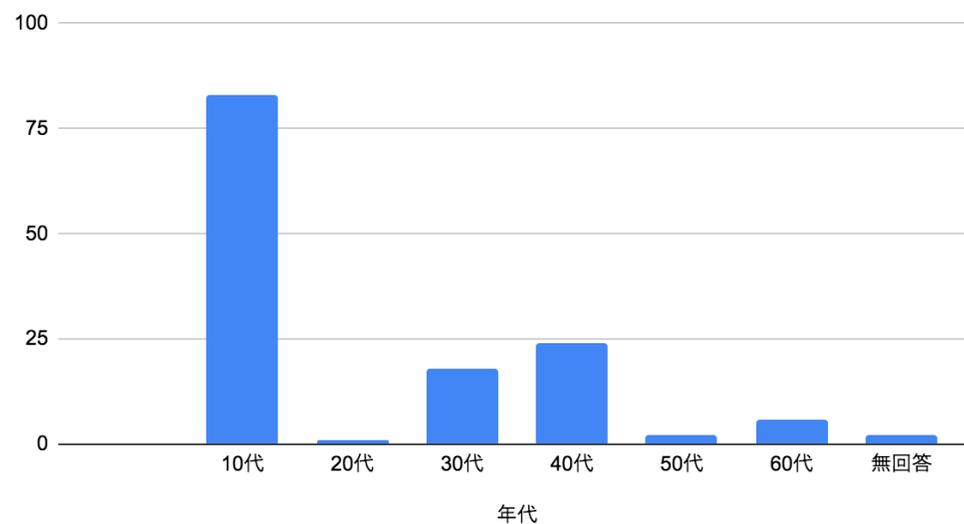


ブース来場者にサンプルグッズの人気投票へ協力していただきました。
アンケートは紙で実施し、計136名へ回答していただきました。

「性別」のカウント数



投票者の年代



グッズ人気投票結果

投票番号	投票数
5	26
8	16
4	12
D	10
F	9
C	9
A	8
7	8
1	7
H	5
G	5
E	5
2	5
6	4
B	3
3	3
I	1
総計	136



この取組みについて、何かご意見・ご感想がありましたらご自由にお書きください。(回答はすべて原文ママ)

- ・ 取組みに関する感想・意見
- ・ くじらがかわいい
- ・ すごくかわいい
- ・ イラストがかわいい！
- ・ おもしろい形だから
- ・ おもしろい
- ・ 楽しそう
- ・ なあちゃんかわいい
- ・ なあちゃんのすいとうがかわいい
- ・ とってもかわいい。どうぶつとなかよしでかわいい。
- ・ 今はホットOKなミニサイズのボトルなどが流行りです。
- ・ 小学校・中学校の揃いのバッグとして持たせるのもいいと思います
- ・ こせいがあふれるようにしたらいいと思う
- ・ たい熱よう器のカップがなかったのでうれしいです
- ・ Tシャツの色をもっとバラエティーよく

- ・ 環境を少しでも考えてほしいから
- ・ 温かいイラストで好きです。是非、精華町アピールしてください
- ・ 絵がかわいらしくて、子どものノートにいいなと思いました。
- ・ こんな可愛いデザインのノートで勉強したかった
- ・ はじめて知りました。可愛いです。
- ・ グッズが完成したら、アピタなどで購入できるとありがたい
- ・ レーザーの絵を指差していて、精華町っぽい
- ・ ハンカチなどもあったらかわいいとおもいます
- ・ とってもかわいいキャラクターですね！



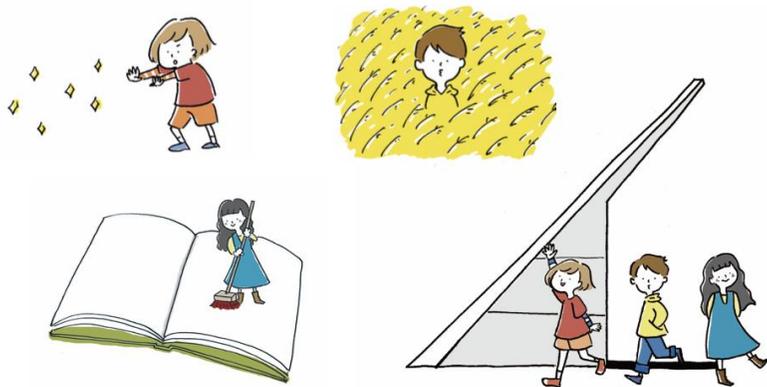
2020/2/11 けいはんな科学体験フェスティバル
おおえさき似顔絵コーナー実施報告書



イラストレーター・おおえさきの

にがおえコーナー

精華町のキャラクター「けいちゃん、はんちゃん、なあちゃん」
作者による似顔絵イベント。所用時間10分～15分ぐらい。



おおえさき

イラストレーター・マンガ家。京都出身。イベントでは「ながしのにがおえやさん」として出店。マンガやグッズなど、自身のイラストをさまざまな作品へ展開させている。

2020年カレンダーも絶賛予約受付中。[Twitter & Instagram @ohyeah_saki](#)



投票景品シール配布（1000枚）



シール仕様

42

- ① 1シートはキャラジューター1枚ずつ剥がして使用できる
- ② 背景色は透明（裏側の台紙は白色で少し厚め台紙）
- ③ サイズは148×100（ミラー+PP）5色シート仕上げ



似顔絵コーナー来場者 -1



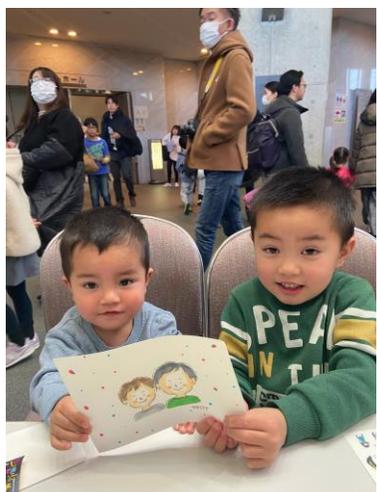
似顔絵コーナー来場者 -2



似顔絵コーナー来場者 -3



似顔絵コーナー来場者 -4

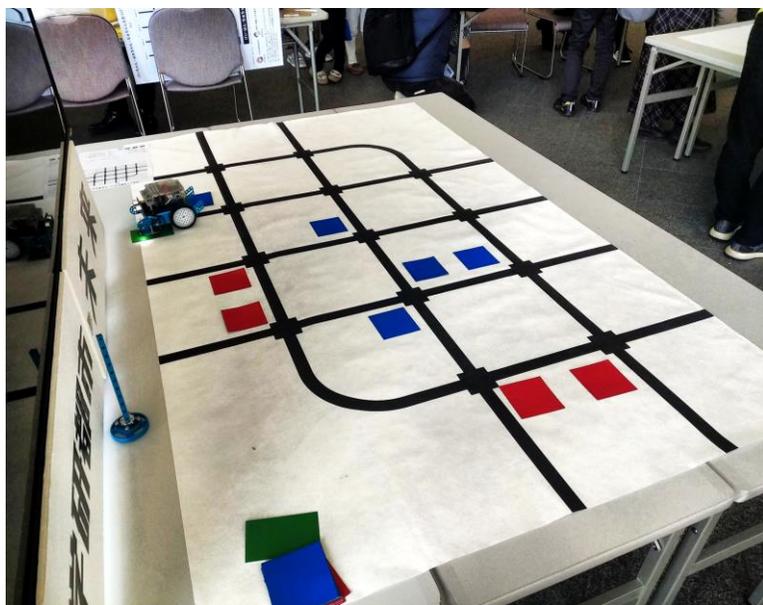


おおえさき似顔絵コーナーにて当日描かれた来場者イラスト





2020/02/11 けいはんな科学体験フェスティバル
ロボットプログラミング体験実施報告書



開催日 : 2020年2月11日 (火・祝日)
開催時間 : 10時~12時 13時~16時
開催場所 : けいはんなプラザ
参加料 : 無料 : 見学自由
参加対象 : けいはんな科学体験フェスティバル 来場者

主催 : けいはんなリサーチコンプレックス
運営 : チームラボ
協力 : 精華町

成果 : 予想来参加目標数200人を大幅に超える350名の方々に体験をしていただきました。(配布したコース設計枚数による概算)

開催趣旨 :

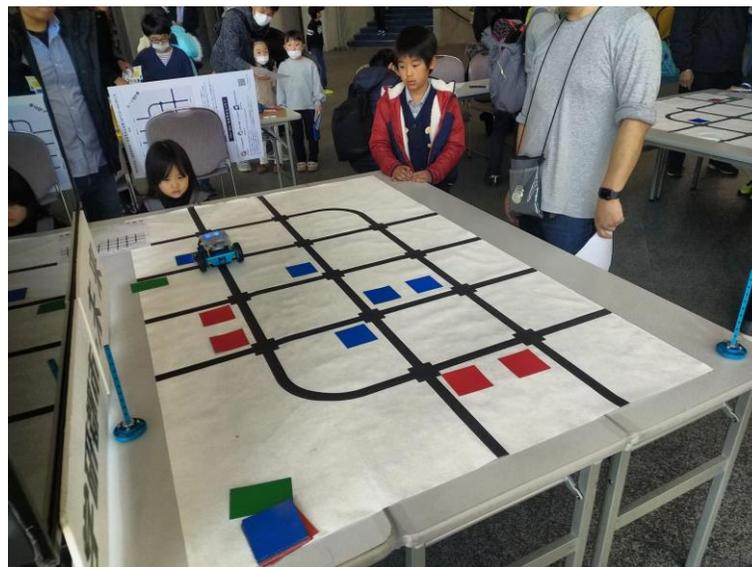
けいはんなリサーチコンプレックス主催の地域企業と協力した子供向けプログラミング体験教室を、けいはんなプラザで行われるイベント「科学体験フェスティバル」に来場した方々へ周知するため、ワークショップ型の体験イベントで使用されるロボットプログラミングコースを設置。

来場者は実際に攻略コースを体験し、保護者には取り組みの意義や効果を実感していただき、子どもたちにはロボットプログラミングに興味を持ってもらう足がかりとする。

ブース展示内容 :

攻略デモコース設置・活動内容ポスター掲示(2点)・コース設計用紙の説明用パネル掲示(2点)・コース設計用紙の配布・攻略した方への景品贈呈・来場者アンケート実施

2月11日にけいはんなプラザで行われた、けいはんな科学体験フェスティバル内にて攻略コース・ポスター等を含めた設備を展示。



コース内容に関する説明を行い、来場者には実際にコース攻略を体験していただきました。当日は開始と同時に行列が出来て、予想参加数を大幅に超え、約350名もの方々に体験をしていただきました。(配布資料数による概算)



コース攻略は初級・上級に分かれ、それぞれのコースを攻略した方へはメダルを贈呈。両コースを攻略し、メダルを2枚貰った参加者はさらにけい・はん・なあちゃん(精華町学研都市のキャラクター)缶バッジとシールをプレゼントしました。



コース攻略は初級・上級に分かれ、それぞれのコースを攻略した方へはメダルを贈呈。両コースを攻略し、メダルを2枚貰った参加者はさらにけい・はん・なあちゃん（精華町学研都市のキャラクター）缶バッジとシールをプレゼントしました。

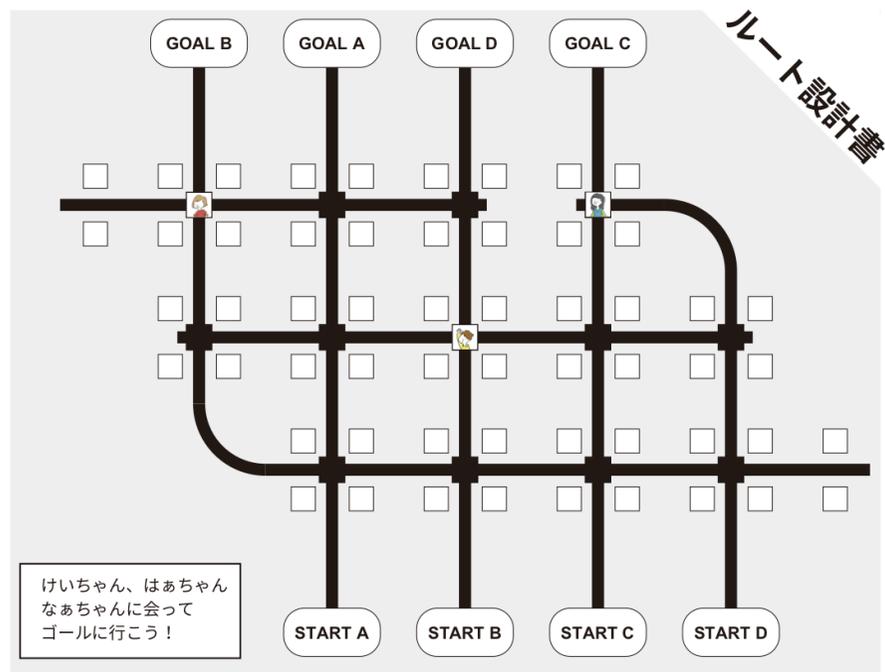




初級コースの攻略内容

けいちゃん・はあちゃん・なあちゃんを見つけてゴールに行こう

名前 _____



けいちゃん、はあちゃん
なあちゃんに会って
ゴールに行こう！

- ロボットの動き方**
- ・ロボットは、黒い線にそって移動します
 - ・ロボットは左手部分のセンサーをつかって、赤・青を見つくと、右・左に回転して最初に見つけた黒い線に移動コースを変えます
 - ・赤・青のカードは合計6枚まで使えます



- ルール**
- ・START から GOAL までロボットを動かそう
 - ・途中けいちゃん・はんちゃん・なあちゃん全員と会って、START と同じ記号の GOAL にたどりつくと、メダルをゲット
 - ・他の START に行ったり、同じところを移動し続けたり、GOAL にたどり着けなくなったらゲームオーバー

けい・はん・なあちゃんって？

けいちゃん・はんちゃん・なあちゃんはせいか町に住んでいる子どもたちです。



いつも元気な女の子

けいちゃん



大阪から転勤してきた男の子

はんちゃん



本が大好きな女の子

なあちゃん

せいか町では、新しい技術の研究や、新しいみどりや生活と文化を作るため、日々、沢山の人が働いて、暮らしています。

この一帯はそれぞれの地域の頭文字をとって、「けいはんな学術研究都市」と言われています。

多くの研究施設と、研究所や会社があって、大きな図書館があって、素敵な公園があって、あと、スイーツのお店が沢山あります。

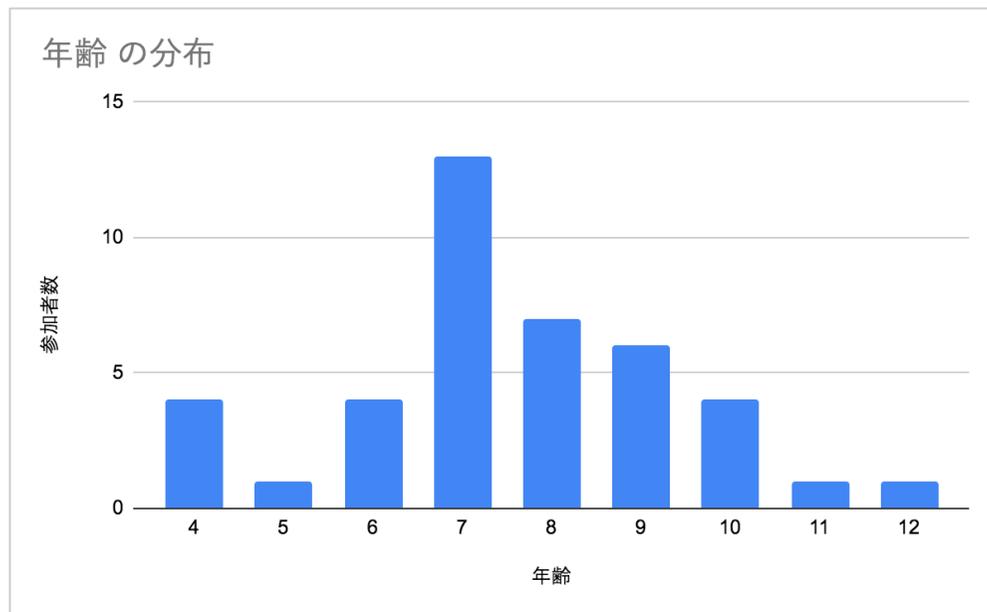
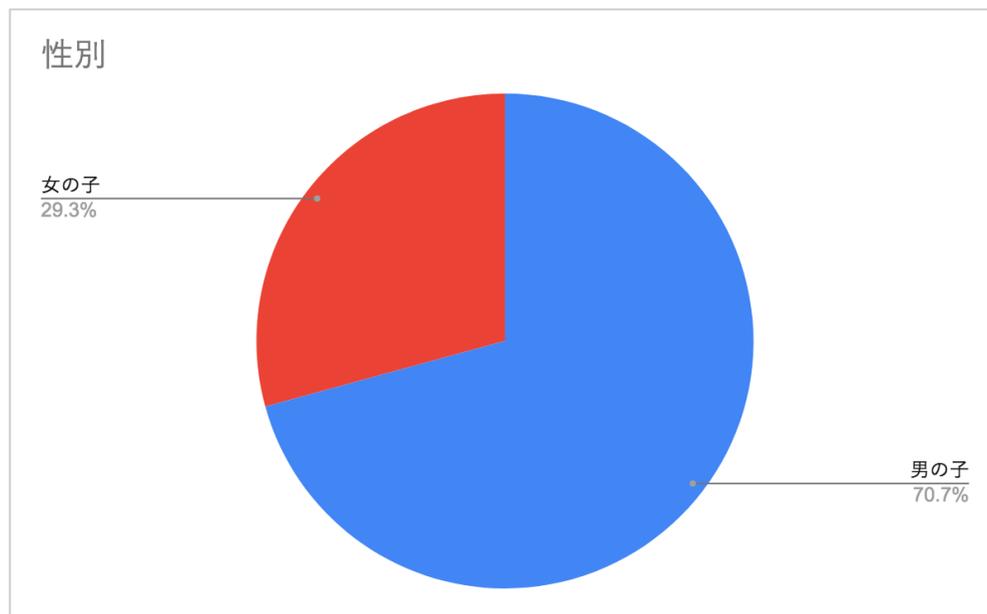


3人と、その家族の生活をのぞいてみよう！

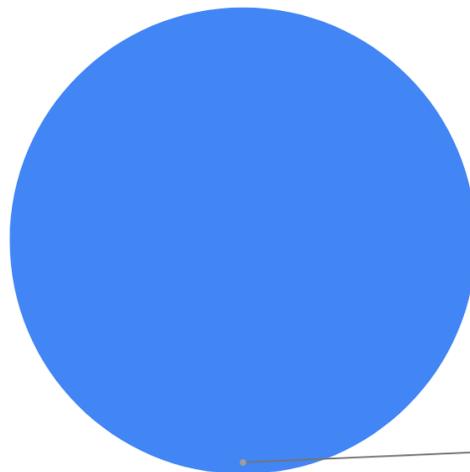
説明を聞いていただいたブース来場者に対し、アンケートを任意で実施

アンケートは保護者へ用紙を渡し、体験後に提出していただく形式で行いました。

回答者数は41組

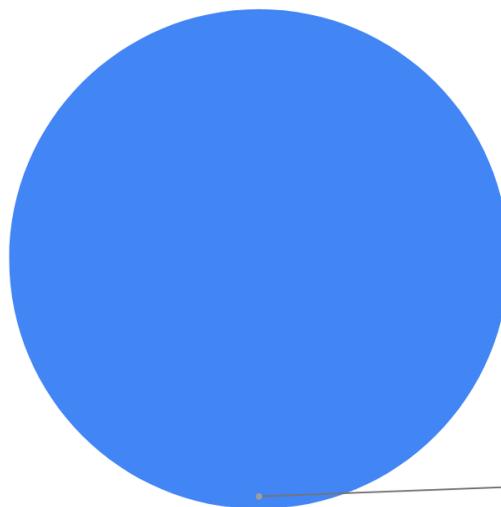


今日やったことは、面白そうだな、
また自分でやってみたいなと感じましたか？



はい
100.0%

またこのようなイベントがあったら来たいと思いますか？



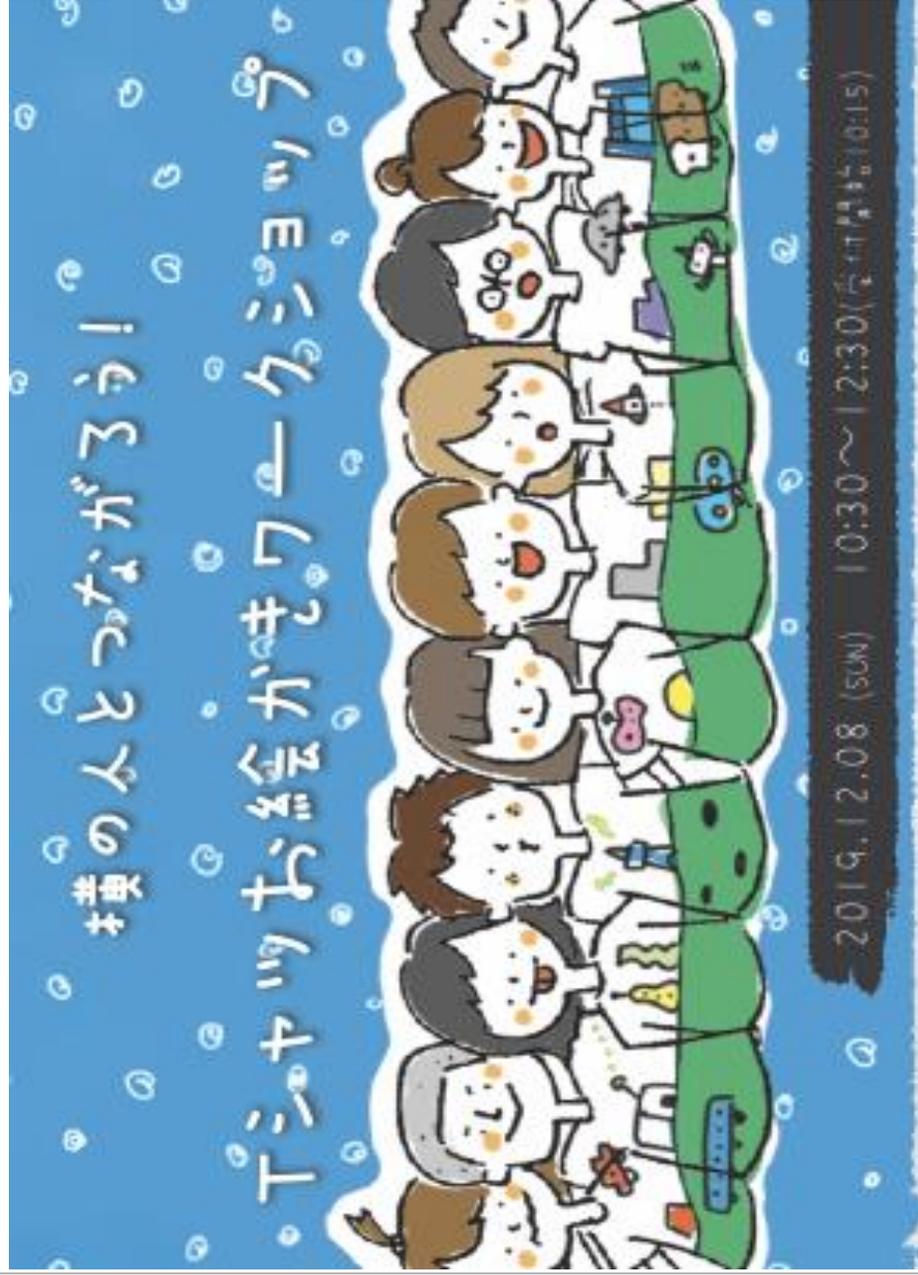
はい
100.0%

今回のイベントに関して、なにか感想があったらご自由にお書きください。保護者の方も、ご意見等ありましたらお書きください

<ul style="list-style-type: none"> ・楽しかった。ロボットが自走するのを見ているだけで面白いです。 ・自分で考えてコースを作ったときに、自分でつくと楽しくなったので、またこんなイベントがあったらいいなと思いました。 ・ロボットもガチャガチャもたのしかった！ ・おもしろかったです！ ・たのしかったり おもしろかった ・兄弟3人が必死になってゴールを目指していました。失敗を何回もして、ヒントをいただき、自分たちの力でゴールさせて頂いたのがとても素晴らしかったです。 ・こういうの大好きです。おうえんしてます。 ・赤青パネルの制限数やポイントの教え方など、紙に明記してもらえるとわかりやすい ・たのしかったです ・たのしかった パズルみたいで楽しんでいました ・頭をつかって考えるので、今後もやらせたいと思う ・よく工夫されていて面白かったです ・頭を活性化するいい機会だと思いました ・親が結構楽しめました ・考えることを楽しめる。また、考えたことを実行して確かめられるいいプログラムだったと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ロボット迷路は頭を使い、子どもは大変おもしろかったと言っています。また、なぜそのような動きになるかの解説もあり、ただ作るのではなく考える材料になり大変いいイベントだと思います。 ・おもしろかった ・チームラボの光の遊園地がたのしかったので来てみました。楽しいです。 ・行列の整備をする係が必要だと思います ・イベントをひらいていただき、ありがとうございます ・またやってください ・自分で設計するのがたのしかった <p style="text-align: right;">【回答はすべて原文ママ】 22件の回答</p>
---	---



2019/12/08 横の人と繋がろう
Tシャツお絵かきワークショップ実施報告書



参加費 : 無料

会場 : けいはんなオープンインベーションセンター
対象 : 精華町に住む小学生 (ごきょうだいでのご参加可能)
定員 : 親子15組

※児童のみでのお申込みはできません。
応募多数の場合は抽選になります。



申込方法 : 右のQRコードからお申し込みください
持ち物 : 子ども用の白いTシャツ (持参しない場合は実費500円必要)

本イベントは、運営から用意された画材で、集まった人と協力して、Tシャツに絵を描いて並べることで、1枚の大きな絵を作るワークショップです。
他の子ども達と一緒に大きな絵を描くことで、自分では思いつかなかった描き方、線の使い方・色の選び方などを通し、他の人のアイデアを尊重すること、他の人の話を聞くこと、そして自分自身もアイデアを発することを学びます。



主催: チームラボと考える未来の学研都市
共催: 精華町 (問い合わせ先) 精華町役場企画調整課 ☎0774-95-1900



本イベントは、運営側から用意された画材を使ってTシャツに絵を描いてもらい、「みんなで絵を描いたTシャツを並べて1枚の大きな絵にする」ワークショップです。

◆実施日時：2019年12月08日（日）10時00分～12時30分（9時45分 受付開始）

◆開催場所：けいはんなオープンイノベーションセンター（K I C K）

◆募集人数：先着順で学研都市で働く親とそのこども15組
参加費（無料）応募多数の場合は先着順になります。
申込時にTシャツ持参か購入かをご選択ください。
購入の場合は実費500円を当日に頂戴いたします。

◆企画運営：とけいはんなで働く研究者（遠藤・高井）

◆協力：精華町・チームラボ

★お申込みは下記URL

<https://goo.gl/forms/EcCKQmmol4AeGZfO2>

【応募条件・注意事項】

小学1年生～6年生までのお子さまとその保護者の組み合わせでお申込みください

けいはんなエリア周辺に居住する親子が、みんなで一緒に絵を描くことで、自分では思いつかなかった描き方・線の使い方・色の選び方などを通し、他の人のアイデアを尊重すること、他の人の話を聞くこと、そして自分自身のアイデアをカタチにすることを学びます。



タイトル：Tシャツお絵かきワークショップ
 開催日：2019年12月08日（日曜日）
 開催時間：10:30-12:30
 開催場所：会場名KICK けいはんなオープンイノベーションセンター
 会場住所〒619-0238 京都府相楽郡精華町精華台7丁目5-1
 参加料：無料
 参加対象：けいはんな地区在勤・在住の周辺の親子(小学低学年)
 参加定員：10組
 応募者数：9組
 参加人数：7組(きょうだい含む11名)

主催：主催者名 チームラボと考える未来の学研都市
共催：精華町
開催趣旨：本イベントは、運営側から用意された画材を使ってTシャツに絵を描いてもらい、「みんなで絵を描いたTシャツを並べて1枚の大きな絵にする」ワークショップです。みんなで一緒に絵を描くことで、自分では思いつかなかった描き方・線の使い方・色の選び方などを通し、他の人のアイデアを尊重すること、他の人の話を聞くこと、そして自分自身のアイデアをカタチにすることを学びます。
 道具を共有して絵を描くイベントを通して子どもたちは、自分が使いたい道具を他の子が使っている状況や、自分の思うようにはいかない衝突や葛藤などの経験を共有・体験します。保護者の方は、お子さんが他の子どもたちと「イメージをどう共有して絵にするか」を見て学ぶことができます。

当日参加者の内訳

男子	女子	3歳	5歳	6歳
3名	8名	1名	1名	1名
8歳	9歳	10歳	11歳	
0名	2名	3名	0名	

京都府精華町 けいはんなオープンイノベーションセンター（KICK）にて、チームラボによる、親子でけいはんな学研都市の未来をお絵かきするワークショップが開催されます。

◆実施日時：日時：2018年4月14日（土）14時00分～16時00分（13時45分 受付開始）

◆開催場所：けいはんなオープンイノベーションセンター（K I C K）

◆募集人数：先着順で学研都市に居住、または働く保護者とその子ども10組20名
定員を満了した時点で募集は締め切りとなります

◆企画運営：チームラボと京都精華大学未来デザイン研究メンバー

「けいはんな学研都市の未来を親子で考えてお絵かきしてもらいます。」
参加者の皆さま全員に参加賞を用意しています。

★お申込みは下記URLから！

<https://goo.gl/forms/EcCKQmmol4AeGZfO2>

【応募条件・注意事項】

小学1年生～6年生までのお子さまとその保護者の組み合わせでお申込みください

学研都市に住み、または働く保護者に限定で行われます。
お子さま単独での参加は不可とさせていただきます。
乳幼児、未就学児童のご参加は不可とさせていただきます。

当日のタイムテーブルは以下の通りです。

10:30 -10:45	趣旨説明	<ul style="list-style-type: none">挨拶・ファシリテーター自己紹介
10:45 -10:55	下書き作成	<ul style="list-style-type: none">絵のテーマ「地平線の向こう」発表、絵の下書き開始
10:55 -11:10	説明	<ul style="list-style-type: none">説明各1分
11:10 -12:10	作製	<ul style="list-style-type: none">Tシャツを並べて地平線を描いてからお絵描きスタート
12:10 -12:15	写真撮影	<ul style="list-style-type: none">Tシャツを着て、横一列に並び写真を撮る
12:15 -12:25	感想	<ul style="list-style-type: none">感想各自1分
12:25 -12:30	後片付け	<ul style="list-style-type: none">みんなで片付けて・記念写真・解散



紙にTシャツを描いて下書きを考える



地平線の向こう側と手前を考える海なのか草原なのか



写真の説明を入れます。前ページの当日スケジュールの時系列順に並べる。

紙にどんな絵にするか下書き



背の順に並んで、地平線の場所を決める

Tシャツの内側に深部を入れて、裏に移らないようにする



アクリル絵の具でお絵かきスタート

写真の説明を入れます。前ページの当日スケジュールの時系列順に並べる。

筆やスポンジを使って、お絵かき



テープを剥がして、地平線を作製

地平線の向こう側と手前を描く



横に並んで集合写真を撮影





2019/12/01「いちごのまちを語ろう！！」
パネルディスカッション開催報告書



開催場所：精華町役場 図書館集会室



- 開催日 : 2019年12月1日 (日)
- 開催時間 : 14:00-16:30
- 開催場所 : 精華町役場 図書館集会室
〒619-0243
京都府相楽郡精華町大字南稻八妻北尻7 0
- 参加人数 : 29名

■ パネルディスカッション「いちごのまちを語ろう！！」

<(第一部) パネルディスカッション>

1	開会にあたってのご挨拶	10分
2	ファシリテーター/パネリスト紹介	20分
3	販売戦略、生産量UP、品質向上の3テーマについてディスカッション	40分
4	質疑応答/まとめ	10分

■ ファシリテーター(敬称略)

木原奈穂子 (神戸大学大学院農学研究科 特命助教)

■ パネリスト (敬称略)

井上 拓 (華やぎ観光農園)

清水 弘明 (清水農園/野菜ソムリエ)

渡部 美佳 (株式会社ミュウ 代表取締役)

仲山 徹 (一般社団法人日本スイーツ協会認定スイーツコンシェルジュ)

村田 敦史 (株式会社ファームウェア 代表取締役、プランナー・農家)

北川 智博 (株式会社MISO SOUP 代表取締役)

<(第二部) グループワーク>

1	チームビルディング、いちごの試食	10分
2	各チームで、「販売戦略」「新規就農者確保」「品質向上」を深掘りしたアイデアに関する議論を実施	35分
3	各チームアイデアを発表、人気投票、優秀チームへの表彰	10分
4	アンケート記入、記念撮影	5分

スイーツ店が多く集まり、年間約3万人もの観光客が来訪する「いちご農園」がある「いちごのまち」精華町をより活性化させるワークショップを行いました。

精華町を「いちごのまち」としてアピールするためにどうするべきか。近隣住民と農園・スイーツ店・研究者・学生の方々が集まり、自由な発想で議論を実施しました。



集まれ～イチゴ栽培したい人イチゴスイーツ食べたい人、イチゴ大好きな人
パネルディスカッション「イチゴのまちを語ろう！！」

12月1日(日曜)14:00-16:30

場所：精華町役場 図書館集会室

1. ファシリテータ紹介



◇木原奈穂子

神戸大学大学院農学研究科 特命助教

京都大学大学院農学研究科修士課程修了後、民間中小企業に就職、営業やマーケティング、経営企画を担当。

その後、同大学博士後期課程を修了し、現職に至る。専門は、農業経営、農業会計。博士（農学）。

農業への支援のあり方や協同組合の意義についての研究に一貫して取り組むとともに、現在は、丹波篠山市に駐在して、同市と神戸大学との地域連携協定に基づく事業推進や教育に従事。

地域ぐるみによる地域資源管理や地域特産品のリブランディングによる地域活性化について実践的に研究している。

2.パネリスト紹介



◇井上 拓（華やぎ観光農園）

京田辺市出身。大学卒業後、約2年間不動産仲介会社で勤務していたが、将来自分で何か商売できないかと考えていた時に農業を検討

2018年1月に華やぎ観光農園へ転職し、いちご栽培や観光いちご園の運営等を学んでいる。

2019年度から夏や秋に収穫できる「夏秋いちご」の栽培にも取組んでおり、町内スイーツ店と連携したスイーツフェアを行う等、「美味しいいちごを作り、精華町を関西圏で有名ないちごの一大産地にする」ビジョンを掲げている。

2.パネリスト紹介



◇清水 弘明

清水農園／野菜ソムリエ

農業自営経験年数22年。精華町の地域特産である伏見とうがらしやいちごを経営の柱に直売作物を交えた農業経営を行っている。

また、市場出荷だけでなく、野菜ソムリエプロなど資格を活かした直接販売等による経営安定をはかっている。そのほか、JA青と部会・JA青壮年部・アグリ精華の役員として、関係機関と共に生産振興、後継者育成なども行っている。
精華町認定農業者。

2.パネリスト紹介



◇渡部 美佳

株式会社ミュウ 代表取締役

苺専門家。服飾の仕事をしていた頃に、友人から紹介されたいちごのあまりのおいしさに感動し、2003年に京都のいちごスイーツ専門店「メゾン・ド・フルージュ」をオープン。

いちごを栽培している農家へ直接足を運んで契約し、畑で完熟になったものだけを直送。いちご本来の味を活かし、基本的なお菓子作りから和菓子、洋菓子、中国菓子と今では100種類以上のレシピがあり、四季の変化と共に、その時々が一番適しいちごの食べ方を提案している。

2.パネリスト紹介



◇仲山 徹

一般社団法人日本スイーツ協会認定スイーツコンシェルジュ
京都市在住。普段は、株式会社成基総研取締役（経営企画室長）
として勤務。

現在フォロワー数8,000名を越える、京都スイーツの投稿を専門とするインスタグラマーとして活動している。Instagram「[tohru_nakayama](#)」で検索。主な保有資格に、一般社団法人日本スイーツ協会認定スイーツコンシェルジュ、国家資格キャリアコンサルタント、JPPI認定ポジティブ心理学プラクティショナーがある。

2.パネリスト紹介



◇村田 敦史

株式会社ファームウェア代表取締役

プランナー・農家

山梨県北杜市在住で、3反の農地でトマト、桃、大根、花豆を生産
小売業向けバックエンドシステムサービス、企業のWebサイト構築
及びサービス設計、小売店経営を経て、2015年に山梨県に移住。

定常経済や地方の過疎化に向け、アグリと農的ライフスタイルを融合した「農産品＝商品ではない」視点からローカリズムファーストモデル、ブルーゾンの兼業農ライフを構築すべく活動中。2020年初めに山梨県韮崎市に古民家を改修したアウトドアユーザー向けドミトリーをオープン予定。

2.パネリスト紹介



◇北川 智博

株式会社MISO SOUP 代表取締役

瀬戸内うどんカンパニー代表取締役CUO (チーフうどんオフィサー)
6次産業化中央サポートセンタープランナー

15年前に地域をテーマに起業を志し、未上場のITベンチャーで上場を経験。デジタルマーケティング事業本部統括責任者として10以上の新規事業を立ち上げと企業や自治体300以上のデジタルマーケティングに携わる。現在は経営から企画、マーケティングまで幅広いプロデュースを手掛け地方創生事業を行なっている。

★ (第1部)パネルディスカッション

木原氏のファシリテートにより「販売戦略」「生産量UP(新規就農者確保)」「品質向上」の3点を軸に議論。

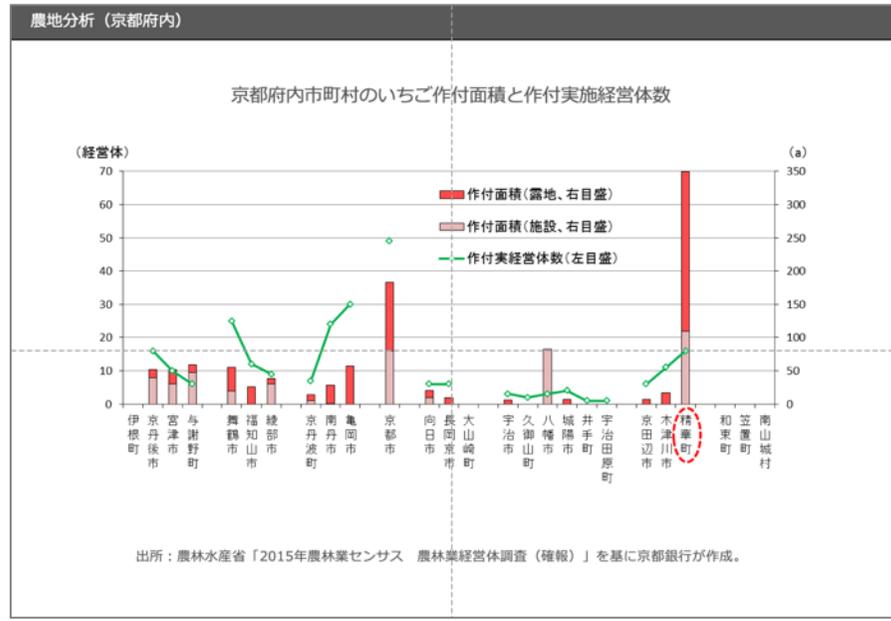
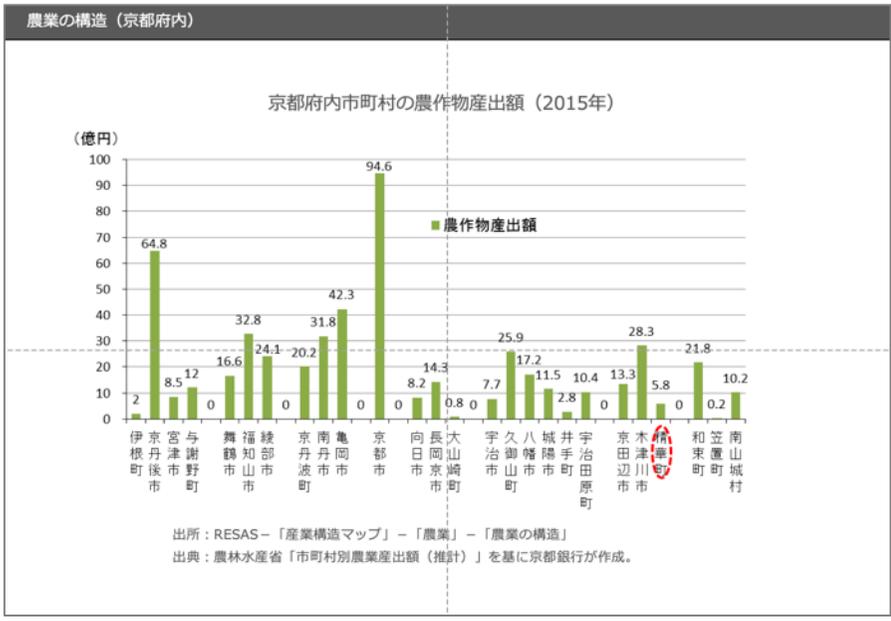
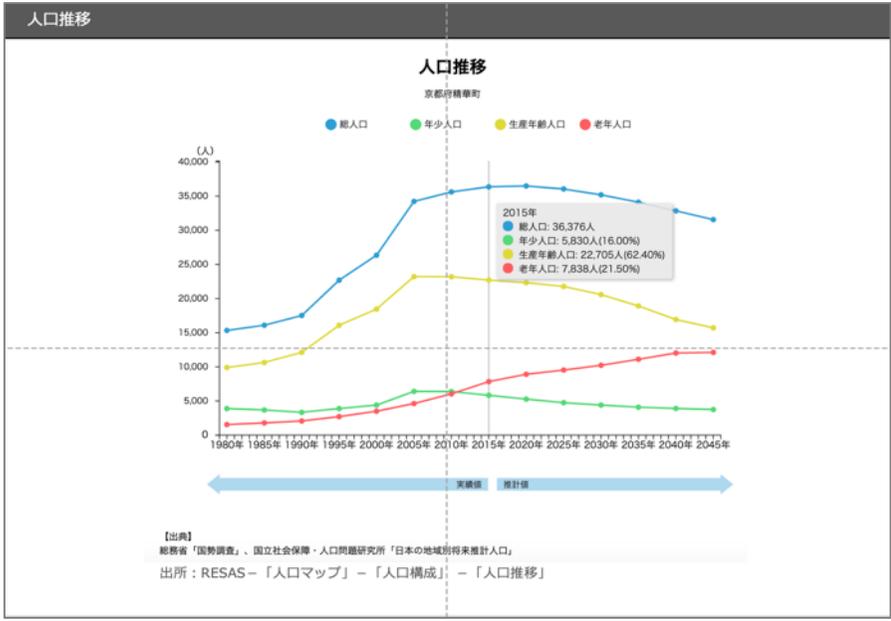
- 精華町いちごの現状として、華やぎ井上氏、清水農園清水氏による現状報告。
- 「販売戦略」については、京都府内で有名スイーツ店を営んでいる渡部氏から「京都産いちごの有用性」、MISO SOUP北川氏、山梨移住者の村田氏などから他地域におけるブランディング事例を紹介いただいた。また、スイーツインスタグラマー仲山氏からは、スイーツにおける“いちご人気”について情報提供いただいた。
- 「生産量UP(新規就農者確保)」については、北川氏、村田氏による他地域事例を中心に、井上氏、清水氏による精華町いちごの可能性について言及いただいた。
- 「品質向上」について、渡部氏よりその需要を伝えたのち、清水氏、井上氏による取組み内容について言及した。また、客席のフロムデータ株式会社より華やぎ観光農園で取り組んでいる施策内容について説明いただいた。





第二部：参加者全員によるグループワーク





精華町の強み

毎年いちご狩りに、約3万人観光客が来る。




◆オリジナル開発したモニュメント



◆京町セイカとコラボしたタペストリー



精華町の強み

人口あたりのスイーツ店数が全国的に比べても多い。



精華町の強み

6次化戦略に取り組み易い加工施設がすでにある。




精華町の強み

関西文化学術研究都市。
ATRをはじめとして日本を代表する研究機関が多い。



■ チームビルディング

チームビルディングの方法：

6つのテーブルに血液型・年代がバラつくように、バランスよく振り分けました。

また、1部の登壇者にも各テーブルに参加いただき、グループ内の議論を先導いただく役目もお願いしました。

■ 各自の興味や関心ごとを議論しチームテーマを決定

第一部のパネルディスカッションでも議論した

「販売戦略」「生産力UP(新規就農)」「品質向上」の3テーマについて、参加者各自が興味や関心を持っていることを、自らの視点で書き出した後に、チームメンバーとディスカッションして、各チームにおけるメインテーマを決定してもらいました。

■ アイスブレイク

簡単な自己紹介：

各テーブル内で、自分がどのような属性の参加者で、どのような気持ちでワークショップに参加したかを簡単に説明し合いました。

いちごの感想を記入：

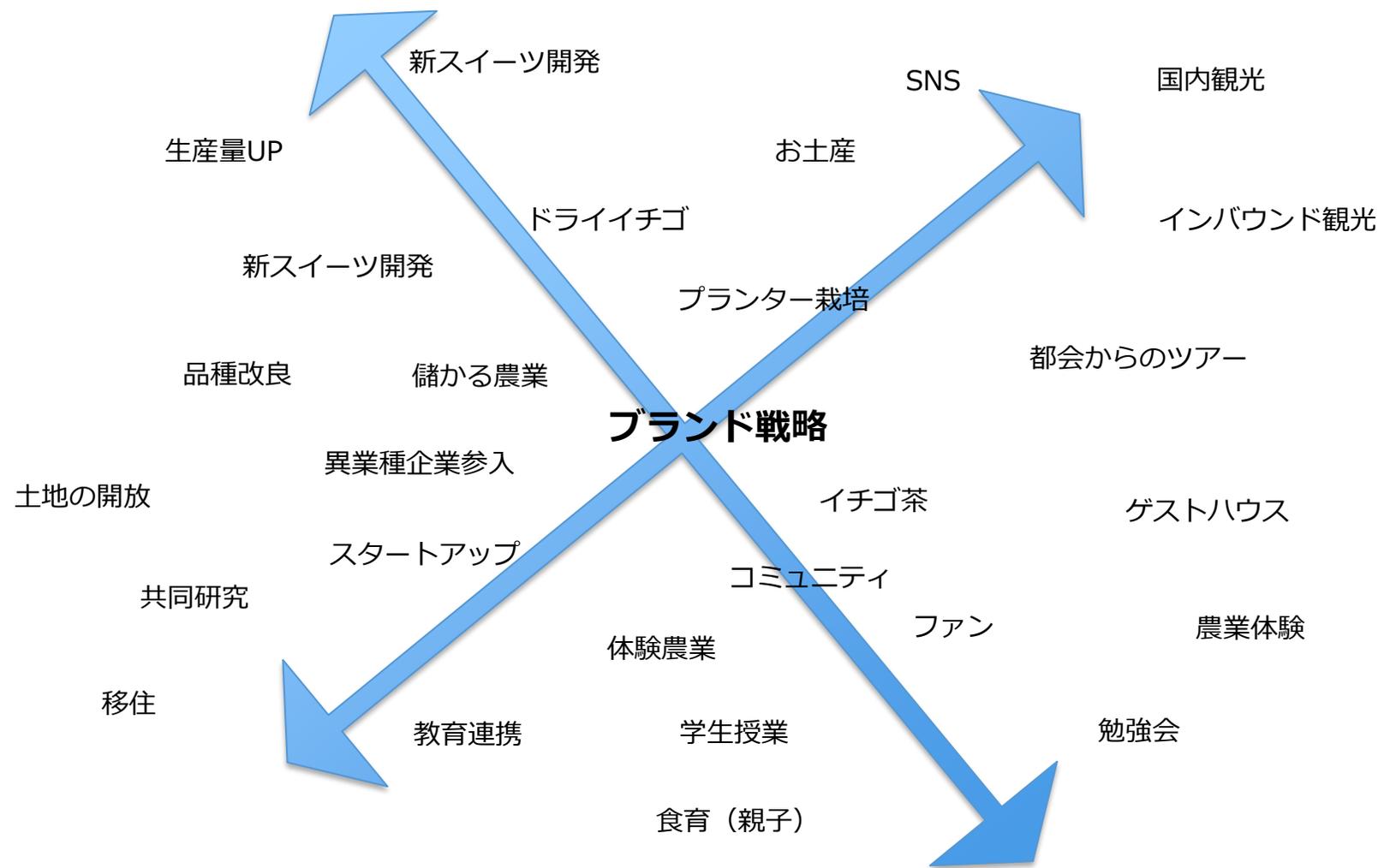
ポストイットの使い方練習を兼ねて、試食したいちごの感想を記載して、チーム内で共有しあいました。





生産性の向上

販売戦略



労働力の向上

品質の向上

★ (WS後半) チームでアウトプットのプランを共創する

■ 第1部のパネルディスカッション情報や、グループワークによる議論を受けて

1. 各チームにて、「いつ (when)」「どこで(where)」「誰が誰のために(who)」「何をする(what)」のテンプレートに沿ってアイデアを共創し発表。
3. 発表を踏まえ、全員が各チームのプランにシールを貼付。
4. 短時間であるが多くの票を集めたアイデアを、優秀アイデアとして表彰。

チーム1



チーム2



チーム3



チーム4



チーム5



チーム6



結果として下記6チームにおけるアウトプットが創出されました。

- チーム1: 【販売戦略】 Berry女 (じょ) コンテスト
- チーム2: 【生産性向上】 援農インターンシップ
- チーム3: 【販売戦略】 あなたは何学部!?いちご大学PJ
- チーム4: 【品質向上】 いちごで実現する!! ヘルスケアのまち精華町
- チーム5: 【生産性向上】 農業に携わりたい人に向けた情報発信
- チーム6: 【販売戦略】 ふるさと納税でファンを作る!

各チームが発表した6案に対して、参加者全員で投票。
また、第1部パネルディスカッション登壇者による感想コメントもいただいた。

(投票ルール)

- 1人1票を投票する
- 各人の判断により、自分のチームに投票してもいいし、他のチームに投票してもOK



グループワーク参加者全員
による投票



第1部登壇者による
グループワークのレビュー



優勝！！
チーム6
ふるさと納税でファンを作る!



When
(いつ)

Where
(どこで)

メインテーマ
販売戦略

1年中OK!

全国

ふるさと納税で
ファンを作る!

役場 + 生産者が
苺好きの納税者
のために

苺そのものではなく
区画を返礼品として
苺栽培体験を提供

Who
(誰が誰のために)

What
(何を)

優勝チーム



When
(いつ)

Where
(どこで)

メインテーマ
販売戦略

令和2年11月15日
(いいイチゴの日)

華やぎ観光農園

Berry女
コンテスト

いちご好きな
関西の女性

関西で一番いちごが
似合うBerry女を決定

全国のスイーツ店を
めぐり精華町いちご
をアピールする

Who
(誰が誰のために)

What
(何をやる)



When
(いつ)

Where
(どこで)

メインテーマ
生産性向上

いちごの生産
繁忙期

精華町の農家

援農インターン
シップ

大学生が
精華町のために

教育機関の講義内
(単位所得可能)で、
大学生が体験農業を
通じて援農する。

Who
(誰が誰のために)

What
(何をやる)



When
(いつ)

Where
(どこで)

メインテーマ
販売戦略

1年を通して

精華町で

あなたは何学部？
いちご大学PJ

いちごを通して何かをしたい人が
自分のために

いちごを通して学び
アウトプットチャレンジする！！

Who
(誰が誰のために)

What
(何をやる)



When
(いつ)

Where
(どこで)

メインテーマ
品質向上

1年中

精華町 +
α
(大学、お茶のまち)

いちごで実現する
ヘルスケアのまち
精華町

コミュニティに参加
したい人が
精華町近隣の、より
元気に美しくなりた
い住人のために

「いちご会議」
の開催

Who
(誰が誰のために)

What
(何を)



When
(いつ)

Where
(どこで)

メインテーマ
生産性向上

1年中

ネット、SNS、
ホームページ等

農業に携わりたい
人に向けた
情報発信

役所や農家やインス
タグラマーが
就農希望者のために

仕事や情報を
オープンにする

Who
(誰が誰のために)

What
(何を)

2019/11/27 サブカルフェスタ
ノベルティグッズ人気投票実施報告書



チームラボ 株式会社
TEAM★LAB Inc.

email: info@team-lab.com
<http://www.team-lab.com/>



グッズ人気投票

おおえさき似顔絵コーナー

開催日 : 2019年11月27日 (金)
開催時間 : 10:00-17:00
開催場所 : けいはんなプラザ
参加料 : 無料
参加対象 : サブカルフェスタ来場者

実施内容 :

学研都市精華町PRキャラクター「けい・はん・なちゃん」のオープン利用化に向けた施策として、将来的にグッズがどのように利用できるようになるか見本としてサンプルグッズを展示。

各グッズに対して来場者に投票を行っていただき、世代・性別別にどのようなものの人気があるのかデータ集計を行いました。

また、精華町のクリエイター奨励に関する取り組みの一環として同ブース内にてイラストレーターおおえさきによる似顔絵コーナーを設置、集客の促進を行いました。



学研都市精華町PRキャラクター（仮）



限定シール
プレゼント!!

オープン利用化に向けた人気グッズ投票!

キャラクターの オープン利用って?

学研都市精華町のことをみんなにもっと知ってもらうために、共通のキャラクターをたくさんの人に使っていただくための仕組みづくりを考えています。
この仕組みができれば、精華町内だけでなく、いろんな企業やクリエイターに「けいはんなあちゃん」を使ってグッズ制作などを行ってもらうことができるようになります。



どのグッズが欲しい?

「けいはんなあちゃん」のイラストを使って誰でもグッズを作れるようにしたい! そんな思いから 皆さんがどんなグッズが好きか、人気投票を行っています。「そんなのあったら嬉しい!」という見本の番号を書いて投票をしてください。投票された方には限定シールをプレゼントいたします。



グッズ人気投票フォーム



精華町

お問い合わせ先: 精華町役場企画調整課 0774-95-1900

精華町けいはんな日記

京都と、大阪と、奈良の真ん中に、せいか町という街があります。
せいか町では、新しい技術の研究や、新しいみどりと生活と文化を作るため、日々、沢山の人が働いて、暮らしています。
そして、この一帯はそれぞれの地域の頭文字をとって、「けいはんな学術研究都市」と言われています。
多くの研究施設と、研究所や会社があって、大きな図書館があって、素敵な公園があって、あと、スイーツのお店が沢山あります。
この街に住んで、働いている、ごく普通の3家族に、それぞれ3人の子どもがいます。



いつも元気な女の子、けいちゃん。

大阪から転勤してきた男の子、はんちゃん。

本が大好きな女の子、なあちゃん。

この3人とその家族は、チョットだけ不思議な毎日を送っています。

詳しくは精華町けいはんな日記をチェック!



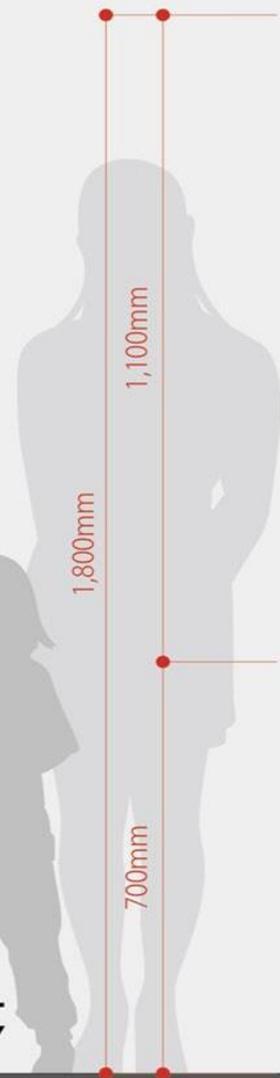
精華町

お問い合わせ先: 精華町役場企画調整課 0774-95-1900



展開図

壁面キャッチコピー



精華町を、
もっとわくわくする町に

KEIICHA. NANJUN. NÄCHEN

壁面キャッチコピー

壁掛けTシャツイメージ

壁面

天板

テーブルクロス

学研都市精華町PRキャラクター(第1弾)

けい... ほん... ななちゃん

オープン利用化に向けた人気グッズ投票!

キャラクターのオープン利用化って?

このグッズがほしい?

グッズ人気投票フォーム

イラストレーター・おおえさきの
にがおえコーナー

精華町のキャラクター「けいちゃん、ほんちゃん、ななちゃん」
作者による似顔絵イベント。所要時間10分~15分くらい。

イラストレーター・マンボウ。寄贈出品。イベントでは「にがおえやまん」として出品。
マンガやグッズなど、自身のイラストをさまざまな作品へ展開させている。
2020年カレンダーを精華町の発行中。@Shikibu.A. @kikkagarden @ShikibuLab

1,800mm



ブース外観



サンプルグッズ -1



サンプルグッズ -2



投票の様子



投票の様子-1



投票の様子-2



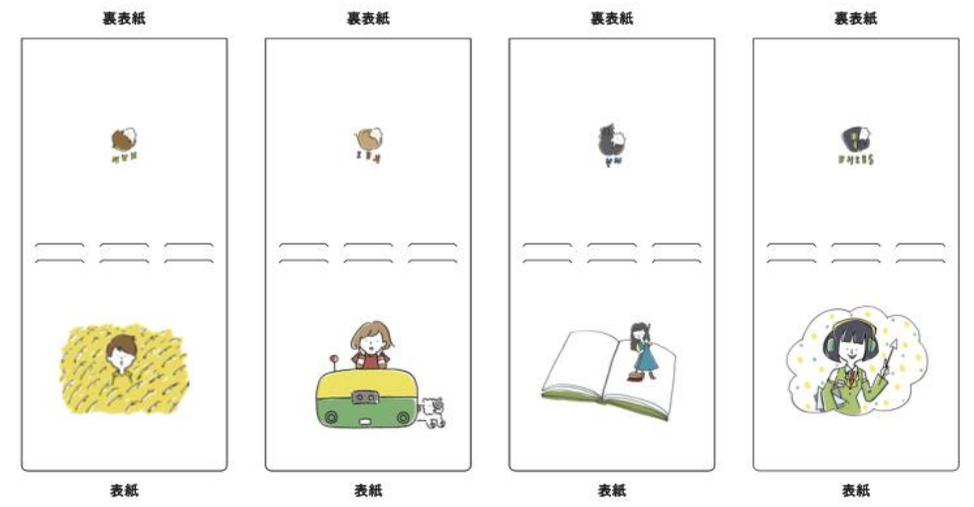
投票の様子-3



投票の様子-4

オリジナルグッズ

ふせん 人気投票4位



ノート(A4サイズ) 人気投票2位



オリジナルグッズ

Tシャツ



イベントバッグ



レギュラーキャンパスサコッシュ(ナチュラル)



オリジナルグッズ

缶バッジ

丸型
(32mm)



正方形 (2ピン)
(サイズ:37mm×37mm)



三角形 (小) (2ピン)
(サイズ:40mm×40mm)



スリムクリアボトル



人気投票1位



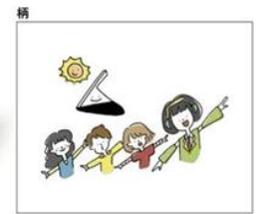
モバイルバッテリー



人気投票3位



マグカップ



グッズ人気投票結果

投票番号	投票数
8	22
5	13
2	11
6	10
C	9
D	9
3	7
4	6
7	6
E	6
G	6
1	4
A	4
9	3
B	3
H	3
J	2
F	1
I	1



1位



2位



3位



4位



同率5位

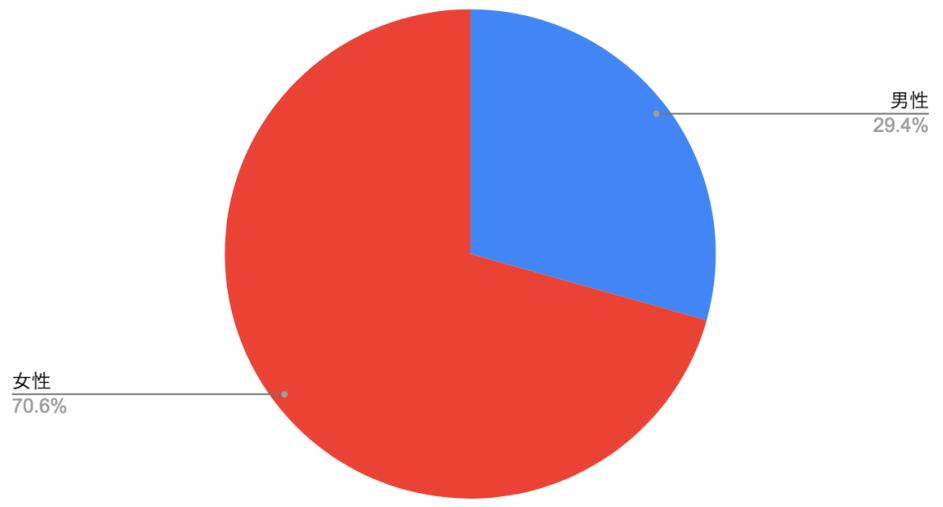
この取組みについて、何かご意見・ご感想がありましたらご自由にお書きください。(回答はすべて原文ママ)

- ・かわいいです
- ・楽しくていいですね
- ・とてもかわいいです
- ・インパクト弱い（京町セイカファン）
- ・みんな売っているの
- ・精華町が豊かな町になったら嬉しい
- ・販売されたら買います！仕事にもっていきたい
- ・キャラクターが可愛いので発売されたら買いたいです
- ・学校でつかえれば広がるとおもいます
- ・知らなかったです。もっと頑張ってください
- ・京町セイカの大ファンです
- ・精華町に住んでます。応援してます
- ・精華町がどんどん発展するように
- ・子供から大人まで好まれるキャラクターだと思います。
- ・可愛いです。萌キャラと違う方向が良いです
- ・もえきゃらじゃなくていいです

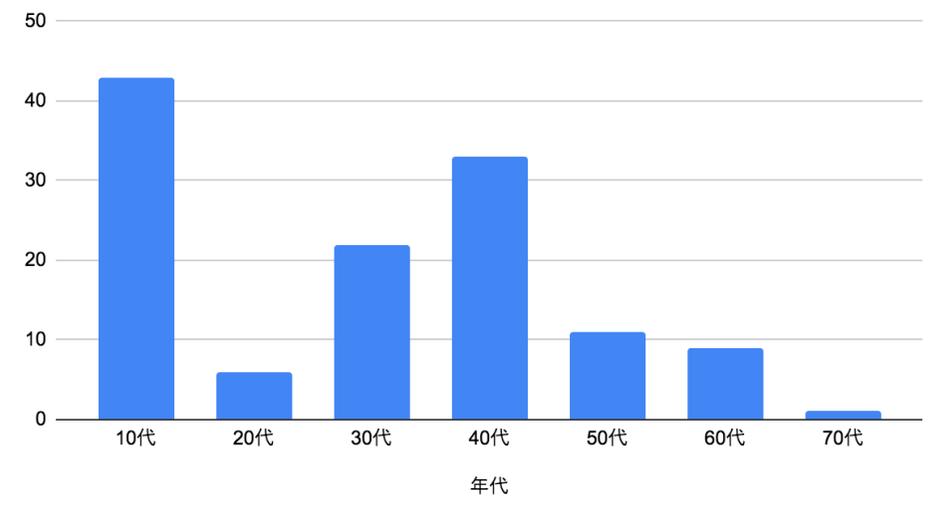
- ・精華町だとわかる表示があるといい
- ・初めてイベントに参加です。素敵です
- ・京町セイカ以外のキャラの活躍期待しています
- ・子どもたちのデザインが个性的で良い。Tシャツ是非売って下さい
- ・販売されたら買います！
- ・沢山増えたら覚えられない
- ・赤いリュック欲しい
- ・親しみやすいキャラクターだとおもいます
- ・楽しくて良いと思います
- ・販売されたら買います！
- ・小学校の体操服入れに使いたい（赤or黄）
- ・アニメアニメしてないキャラで交換が持てる（NTT）
- ・ジェンダフリーな感じで良い。はんちゃんの持ってる丸いものが良い
- ・かわいいキャラクターです
- ・頑張ってください

ブース来場者にサンプルグッズの人気投票へ協力していただきました。
アンケートは紙で実施し、計126名へ回答していただきました。

性別



年代



2019/11/27 サブカルフェスタ
おおえさき似顔絵コーナー 実施報告書



チームラボ 株式会社
TEAM★LAB Inc.

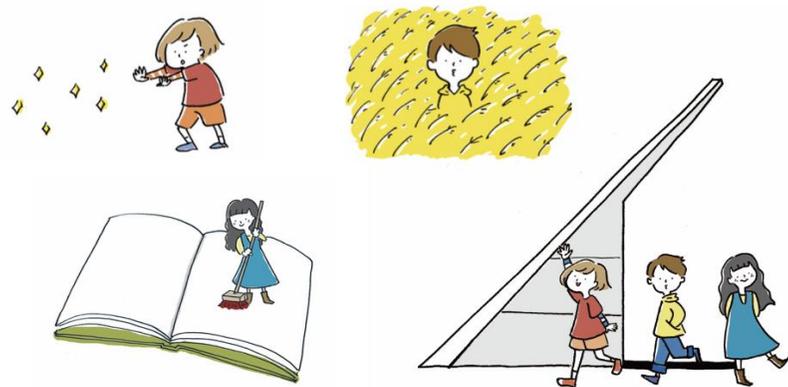
email: info@team-lab.com
<http://www.team-lab.com/>



イラストレーター・おおえさきの

にがおえコーナー

精華町のキャラクター「けいちゃん、はんちゃん、なあちゃん」
作者による似顔絵イベント。所用時間10分～15分ぐらい。



おおえさき

イラストレーター・マンガ家。京都出身。イベントでは「ながしのにがおえやさん」として出店。マンガやグッズなど、自身のイラストをさまざまな作品へ展開させている。

2020年カレンダーも絶賛予約受付中。[Twitter & Instagram @ohyeah_saki](#)



投票景品シール配布（1000枚）



シール仕様

- ① 1シートはキャラクター1枚ずつ剥がして使用できる
- ② 背景色は透明（裏側の台紙は白色で少し厚め台紙）
- ③ サイズは148×100（ミラー+PP）5色シート仕上げ



似顔絵コーナー外観



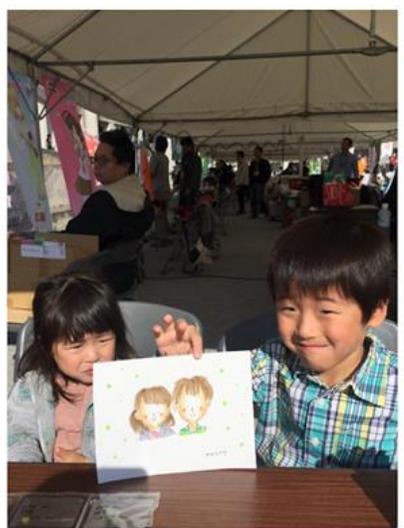
似顔絵コーナー外観-2



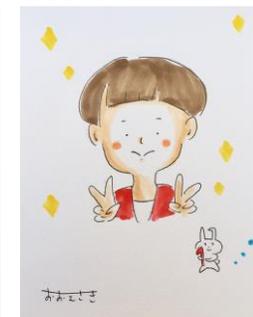
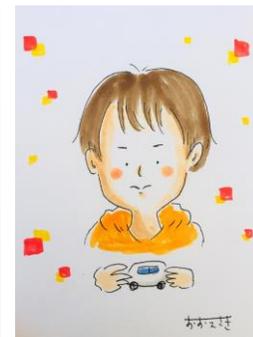
似顔絵コーナー来場者 -1



似顔絵コーナー来場者 -2



おおえさき似顔絵コーナーにて当日描かれた来場者イラスト



2019/11/03みんなで作って食べよう
サンドイッチワークショップ実施報告書



チームラボ 株式会社
TEAM★LAB Inc.

email: info@team-lab.com
<http://www.team-lab.com/>



タイトル：サンドイッチワークショップ
 開催日：2019年11月03日（日曜日）
 開催時間：10:30-12:30
 開催場所：KICK
 〒619-0238 京都府相楽郡精華町精華台7丁目5-1
 参加料：無料
 参加対象：精華町在住の親子(小学5年生)
 参加定員：10組
 応募者数：7組
 参加人数：3組(兄弟含む3名)

主催：主催者名 チームラボと考える未来の学研都市 共催：精華町
開催趣旨：本イベントは、運営側から用意された食材から好きな具材を挟んで、オリジナルサンドイッチをみんなで作るワークショップです。どんなサンドイッチにするか、完成や味をイメージしてポスターを書いたり、食材を選び、作り・売るまでのイメージと、買って・食べる側の答え合わせができます。けいはんなで働く人と居住する親子が、学校では体験できない「他の子ども達と一緒にモノを作ってみること」の大切さを学びます。

当日参加者の内訳

男の子	女の子		
0名	3名		
8歳	9歳	10歳	11歳
0名	2名	0名	1名

当日のタイムテーブルは以下の通りです。

10:30 -10:35	趣旨説明	<ul style="list-style-type: none"> • 学研都市で働く有志のみなさんから趣旨説明
10:35 -10:45	草案作成	<ul style="list-style-type: none"> • 各自の作りたいサンドイッチの絵と説明を描く
10:45 -10:55	材料選び	<ul style="list-style-type: none"> • 材料の組み合わせを考え、選ぶ
10:55- 11:10	作製	<ul style="list-style-type: none"> • サンドイッチ作り開始
11:10 -11:25	投票	<ul style="list-style-type: none"> • 買いたいものを2つ選んで投票
11:25 -11:30	結果発表	<ul style="list-style-type: none"> • 結果発表と感想などディスカッション
11:30 -12:00	後片付け	<ul style="list-style-type: none"> • サンドイッチを食べて、片付け、集合写真をとってアンケート記入

写真の説明を入れます。前ページの当日スケジュールの時系列順に並べる。

誰に、いつ、
どんな味の
サンドイッチ
を、いくらで
売るかを考える



具体的にター
ゲットを決め
て、サンドイ
ッチの中身を
決める

中身を決め
たら、原価を
計算して、
売値を決める



ターゲットに
向けて、サン
ドイッチの
チラシを作る

写真の説明を入れます。前ページの当日スケジュールの時系列順に並べる。

実際にサンドイッチを作って、切ったらお皿に並べる



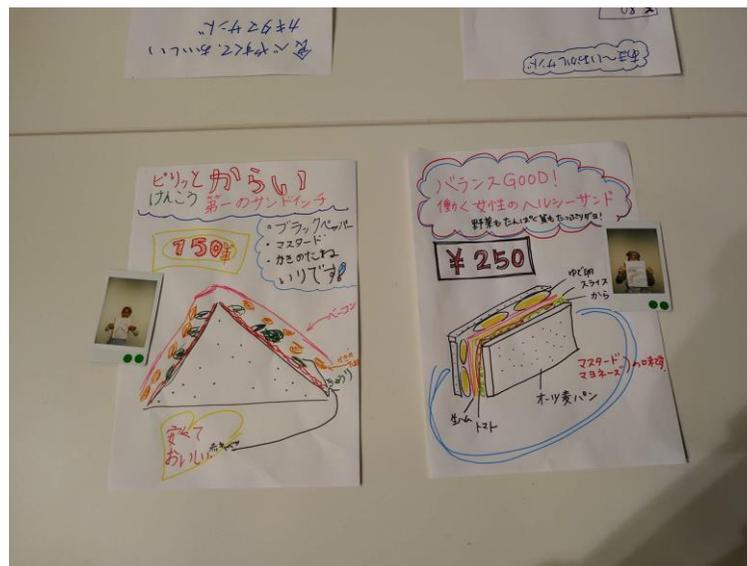
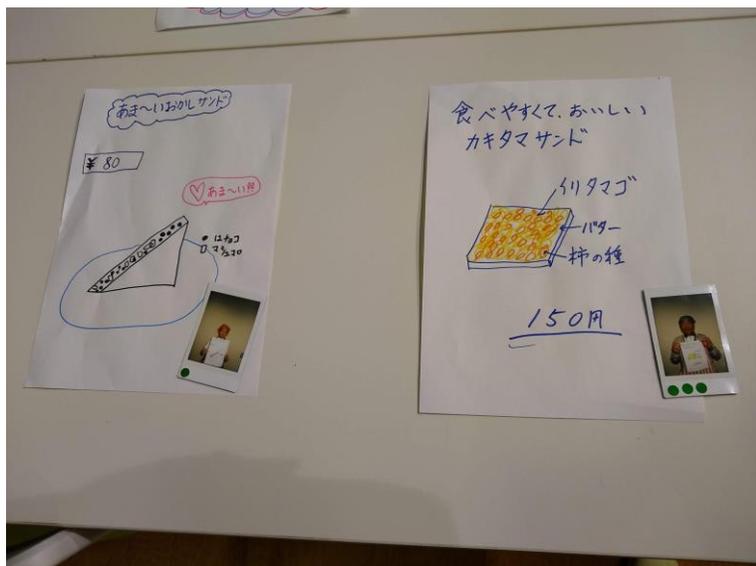
誰に、いつ、どんな味のサンドイッチをいくらで売るかをプレゼン

こだわりポイントを説明



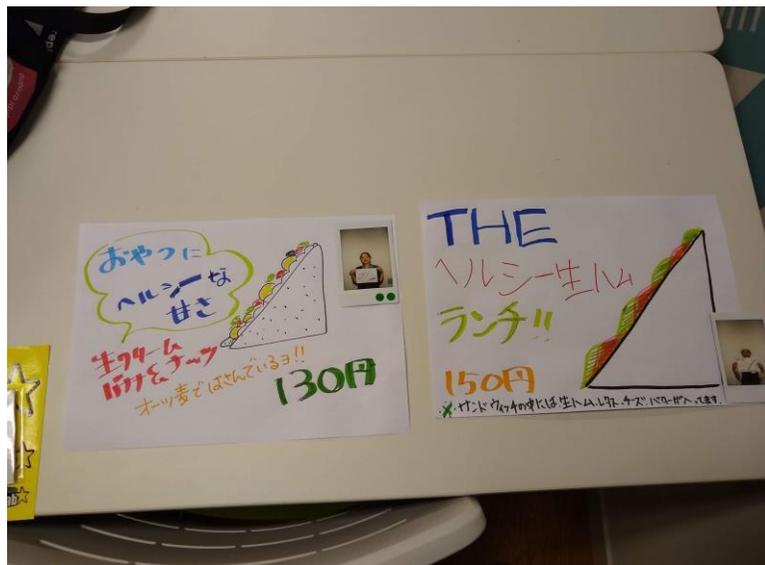
写真の説明を入れます。前ページの当日スケジュールの時系列順に並べる。

味、見た目、テーマで投票する
サンドイッチを決める
値段も考慮する



人気投票を行い、なぜそのサンドイッチを選んだか説明

人気の理由、不人気の理由を考えて、次に作るならどうするかを考える



実際に食べてみて、味の感想を発表

民間クリエイターの作品を積極的に利用できる環境とサブカルチャー支援の環境構築

けいはんなあちゃん キャラクター利用ガイドライン

キャラクター権利フリー化ガイドライン「y異様可能コンテンツ」「町への申請方法」など

キャラクター利用ガイドライン

精華町観光産業振興キャラクター「けいはんなあちゃん」に係る二次的創作物の作成に関する基本的な方針

当サイトで配布するキャラクターの画像データを企業の広報や商品のキャラクターなどに使用するため、所定の申請紙(別記様式第1号)で申し込みいただき審査に通れば、無償で二次的創作物の作成が可能となります。定められる要綱をお読みいただいた上で、下記の事項に該当するような使用は絶対に行わないでください。

精華町もしくは第三者の信用、知的財産権そのほか一切の権利もしくは名誉を侵害する使用またはこのような侵害のおそれがあると認められるとき。

自己の商標や意匠とするなど、独占的に使用し、または使用するおそれがあると認められるとき。

法令及び公序良俗に反し、または反するおそれがあると認められるとき。

特定の政治、思想、宗教などへの使用または使用するおそれがあると認められるとき。

あなたも精華町が公認しているかのような誤解を招く態様での使用、または使用するおそれがあると認められるとき。

その他、町長が不適当と認めたとき。

そのほか、精華町観光産業振興キャラクター「けいはんなあちゃん」の使用については、「精華町観光産業振興キャラクターの使用に関する要綱(下のファイル)」に準拠します。使用にあたっては、必ずこの要綱をお読みいただき守ってください。

精華町観光産業振興キャラクターの使用に関する要綱

要綱本文(〇〇KB)

精華町観光産業振興キャラクターを使用した作品を作って頂くためのルールです。

別表(〇〇KB)

要綱の別表です。

別記様式第1号(〇〇KB)

要綱の別記様式第1号(認定申請書)です。

別記様式第2号(〇〇KB)

要綱の別記様式第2号(認定書)です。

使用可能キャラクター素材(〇〇KB)

別表に定めるキャラクター画像素材ファイルです。

要綱本文(1)

精華町観光産業振興キャラクターの使用に関する要綱

(趣旨)

第1条 この要項は、精華町が権利を保有する精華町観光産業振興キャラクターを、使用者が使用する場において必要な事項を定めるものとする

(定義) 第2条

1. この要綱において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) キャラクター その存在を他と区別するために名称を付与され、その他音声、外見、性格等によって特徴づけられたり抽象的概念を表現するために創作された、イラスト、絵画、動画、立体工作物等の著作物をいう。
- (2) 精華町観光産業振興キャラクター 町が著作権を保有する、別表に定める画像データをいう。
- (3) 使用者 精華町観光産業振興キャラクターを使用して、二次的創作物を作成する者をいう。
- (4) 二次的創作物 著作権法(昭和45年法律第48号)第2条第1項第11号に規定する二次的著作物および著作物の複製物、著作物の改変または切除により作成された創作物をいう。

(使用) 第3条

1. 何人も精華町観光産業振興キャラクターを使用することができる。ただし、次の各号いずれかに該当する場合は除く。

- (1) 精華町若しくは第三者の信用、知的財産権その他一切の権利若しくは名誉を侵害する使用又はこのような侵害のおそれがあると認められるとき。
 - (2) 自己の商標や意匠とするなど、独占的に使用し、又は使用をおそれがあると認められるとき。
 - (3) 法令及び公序良俗に反し、又は反するおそれがあると認められるとき。
 - (4) 特定の政治、思想、宗教への使用又は使用をおそれがあると認められるとき。
 - (5) あたかも精華町が公認しているかのような誤解を招く態様での使用、又は使用をおそれがあると認められるとき。
 - (6) 精華町観光産業振興キャラクターの著しい変更、又は変更するおそれがあると認められるとき。
 - (7) 前各号に掲げるもののほか、町長が不適当と認めたとき。
2. 精華町観光産業振興キャラクターに関する著作権その他一切の権利は、対価の支払の有無にかかわらず町に帰属する。したがって、使用者が精華町観光産業振興キャラクター及び精華町観光産業振興キャラクターの二次的創作物の商標登録、意匠登録その他の登録を行うことを禁じる。

要綱本文(2)

精華町観光産業振興キャラクターの使用に関する要綱

(認定) 第4条

1. 精華町観光産業振興キャラクターの使用者は、新聞、テレビ又は雑誌等報道関係機関が報道目的に使用する場合、あるいは町が実施主体となる事業等で使用する場合を除き、精華町の公認を得て精華町観光産業振興キャラクターを使用するときは、あらかじめ町長の認定を受けなければならない。
2. 前項の認定を受けようとする者は、認定申請書(別紙 様式第1号)に次の書類を添えて、町長に提出しなければならない。
 - (1) 会社概要等、申請者の事業内容がわかる資料
 - (2) キャラクター等の使用状況がわかる完成見本等
 - (3) その他町長が必要と認める書類
3. 町長は、前項の認定申請書の提出があったときは、その内容を審査し、当該使用が精華町の広報活動等に寄与すると認めるときは、これを認定し、認定書(別紙様式第2号)を公布する。この場合において、町長は必要があると認めるときは、精華町観光産業振興キャラクターの使用に関する条件又は 制限を付すことができる。
4. 前項の規定による認定を受けた使用者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。
 - (1) 認定時に許諾された使用内容にのみ使用すること。
 - (2) 当該使用に係る物件の完成品を提出すること。ただし、提出が困難なものについては、写真等を提出すること。
 - (3) 認定を受けた権利を譲渡又は転貸しないこと。
 - (4) 精華町観光産業振興キャラクターを用いた商品等、宣伝又は広告には認定時の許諾番号(「©精華町(許諾年度(西暦))けいはんなあちやん#(番号)」又は「©Seika town(許諾年度(西暦))keihannaachan#(番号)」)を、その商品、包装、広告等に必ず明示すること。
5. 使用者が認定時に許諾された使用内容を変更するときは、改めて認定を受けなければならない。
6. 町長は、次の各号のいずれかに該当する場合は認定を取り消し、使用者に対し、使用物件等の回収等の措置を請求することができる。使用者は、認定が取り消された場合、認定取消の日から使用することができないものとする。
 - (1) 使用者がこの要綱に違反したとき。
 - (2) 使用者が第3項の認定に付した条件に違反したとき。
 - (3) 申請書の内容に虚偽のあることが判明したとき。
 - (4) 前条第1項ただし書に該当するとき。
 - (5) その他精華町観光産業振興キャラクターの使用継続が不相当であると認められたとき。
7. 第3項の規定による認定は、使用者が自己の商標や意匠とするなど、独占してロゴ等を使用する権利を付与し、かつ、商品、使用者等について町の 推奨を行うものではない。

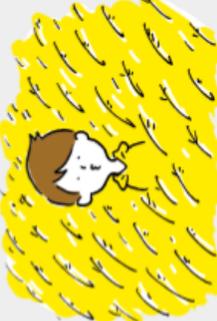
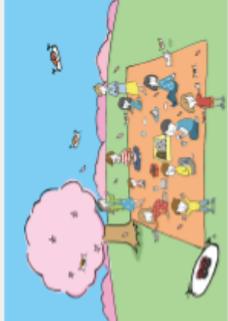
別表

別表(要綱における第2条に関する事項)

	<p>素材名称:けい・はん・なあちゃん_くじら公園 素材番号:01</p>
	<p>素材名称:けい・はん・なあちゃん_日時計 素材番号:02</p>
	<p>素材名称:けい・はん・なあちゃん_空のボール 素材番号:03</p>
	<p>素材名称:けい・はん・なあちゃん_セイカちゃん_face(横) 素材番号:04</p>

	<p>素材名称: けい・はん・なあちゃん・セイカちゃん _face(正面)</p> <p>素材番号: 05</p>
	<p>素材名称: けい・はん・なあちゃん・セイカちゃん_水族館</p> <p>素材番号: 06</p>
	<p>素材名称: けい・はん・なあちゃんセイカちゃん_日時計ポーズ</p> <p>素材番号: 07</p>
	<p>素材名称: けいちゃん_ゲンキ分配</p> <p>素材番号: 08</p>
	<p>素材名称: けいちゃん_ココロモニター</p> <p>素材番号: 09</p>

	<p>素材名称:けいちゃん_人工知能のハナコちゃん 素材番号:10</p>
	<p>素材名称:けいちゃん_セイカちゃん_AI先生 素材番号:11</p>
	<p>素材名称:なあちゃん_ハッピー動植物園 素材番号:12</p>
	<p>素材名称:なあちゃん_プ子農業 素材番号:13</p>
	<p>素材名称:なあちゃん_ブッククリーナー 素材番号:14</p>

	<p>素材名称:はんちゃん_新しい稲 素材番号:15</p>
	<p>素材名称:はんちゃん_自給自足カー 素材番号:16</p>
	<p>素材名称:はんちゃん_蚊のドローン 素材番号:17</p>
	<p>素材名称:家族全員_どこでも回転寿司 素材番号:18</p>



別紙様式第1号

年 月 日

精華町長 様

認定申請書

住所
商号又は名称
代表者又は氏名

精華町観光産業振興キャラクターの使用に関する要綱第4条第1項の規定に 基づき、下記
記の通り申請します。

記

使用対象	
使用素材番号 <small>(別紙参照)</small>	
使用についての具体的な内容 (使用形態、数量・サイズ・製造予定数・販売価格・販売場所・販売先等を詳しく記載して下さい。)	
利用期間(2年以内)	年 月 日 から 年 月 日
使用場所 (当てはまる番号に○をつけ使用場所を詳しく記載して下さい)	1 精華町内 2 京都府内 3 その他
連絡先	担当者名： 電話番号： E-MAIL：

添付書類

- (1) 使用する企業、団体等の概要書(パンフ等)個人の場合はプロフィール等
- (2) 使用する物件(商品)の見本(見本が添付 できない場合、写真や印刷原稿等)

別紙様式第2号

第 号
年 月 日

様

認定書

精華町長

年 月 日付で申請のあった件について、精華町観光産業振興キャラクターの使用に関する要綱第4条第3項の規定に基づき、下記の通り使用許諾し認定したので、通知します。

記

1. 使用対象
2. 使用内容
3. 使用許諾番号
4. 認定に係る条件及び制限
 - (1) 認定時に許諾された使用内容のみに使用すること
 - (2) 当該使用に係る物件の完成品を提出すること。ただし、提出が困難なものについては、写真等を提出すること。
 - (3) 認定を受けた権利を譲渡又は転貸しないこと。
 - (4) 精華町観光産業振興キャラクターを用いた商品等、宣伝又は広告には、認定時の許諾番号(「©精華町(許諾年度(西暦))けいはんなあちゃん#(番号)」又は「©Seika town(許諾年度(西暦))keihannaachan#(番号)」)を、その商品、包装、広告等に必ず明示すること。